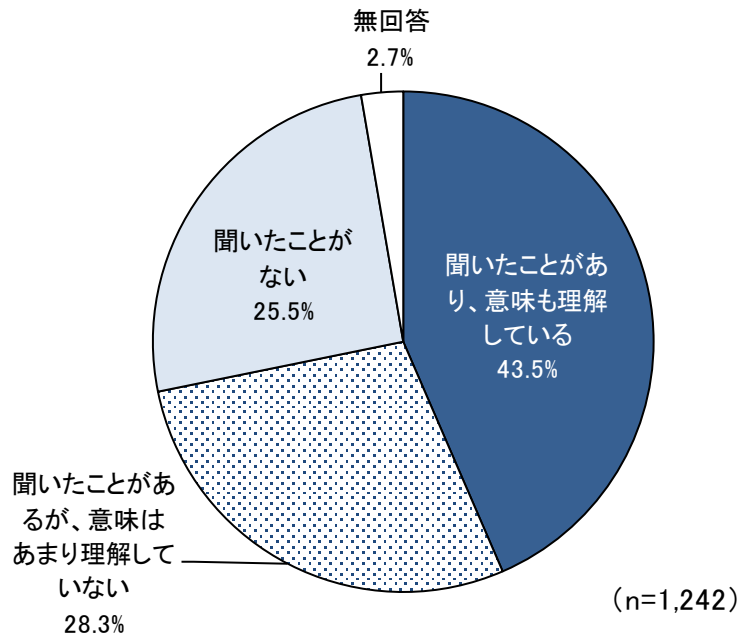


### 3. 「多文化共生」について

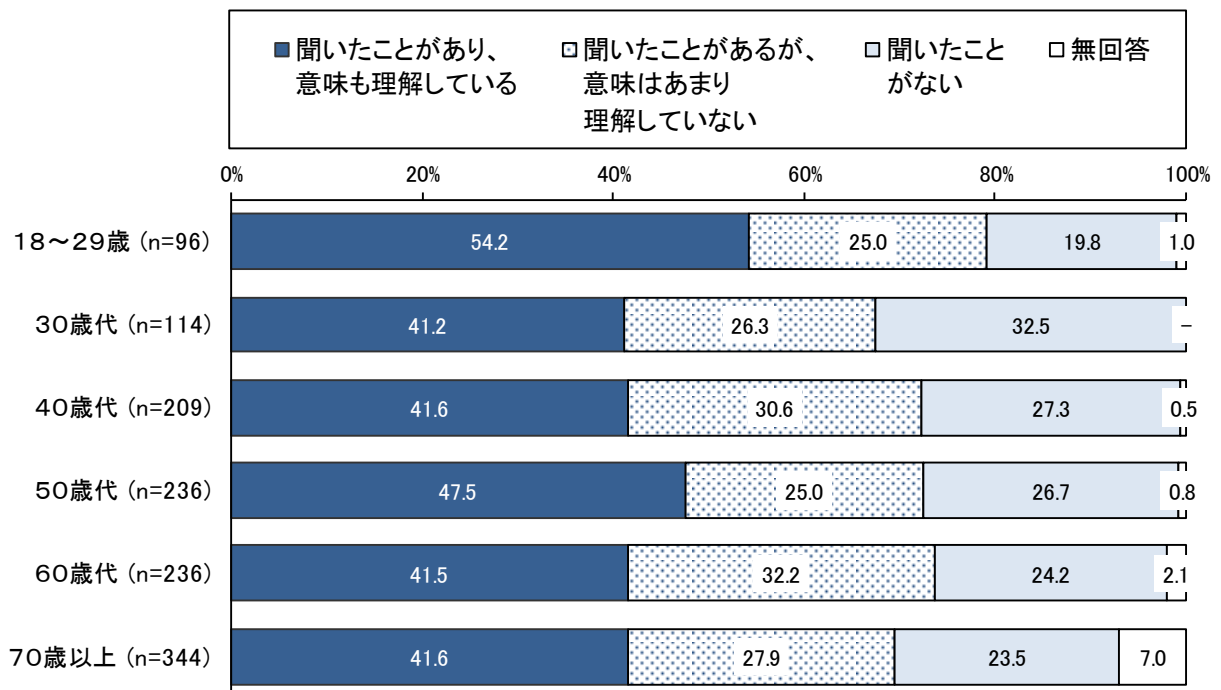
#### 「問 15 「多文化共生」の認知度《日本人版調査票》」－ 1

「多文化共生」の認知について日本人に尋ねたところ、「聞いたことがあり、意味も理解している」が4割強、「聞いたことがあるが、意味はあまり理解していない」が3割弱、「聞いたことがない」が2割半ばとなっている。

年代別にみると、「聞いたことがあり、意味も理解している」は18～29歳で唯一5割を超え全年代で最も高くなっている。



【問 15\_年代別】



「問 15 「多文化共生」の認知度《日本人版調査票》」－ 2

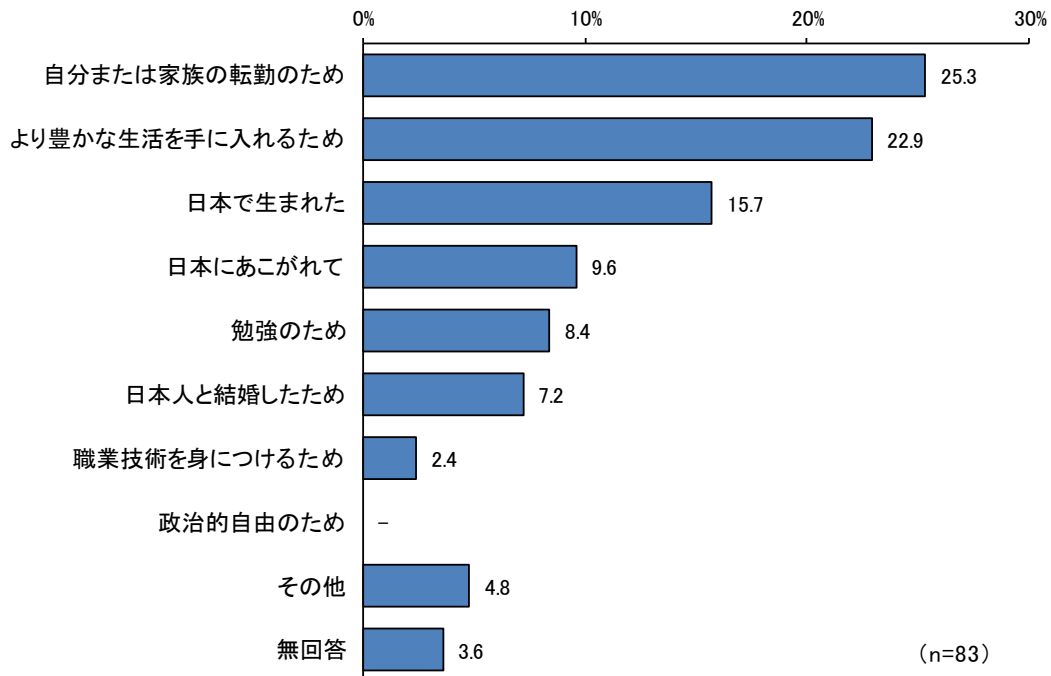
地区別にみると、E地区で「聞いたことがあり、意味も理解している」の割合が1割半ばと、他地区に比べ特に低くなっている。一方、M地区、L地区では5割近くの人が多文化共生の意味を理解している。

【問 15\_地区別】

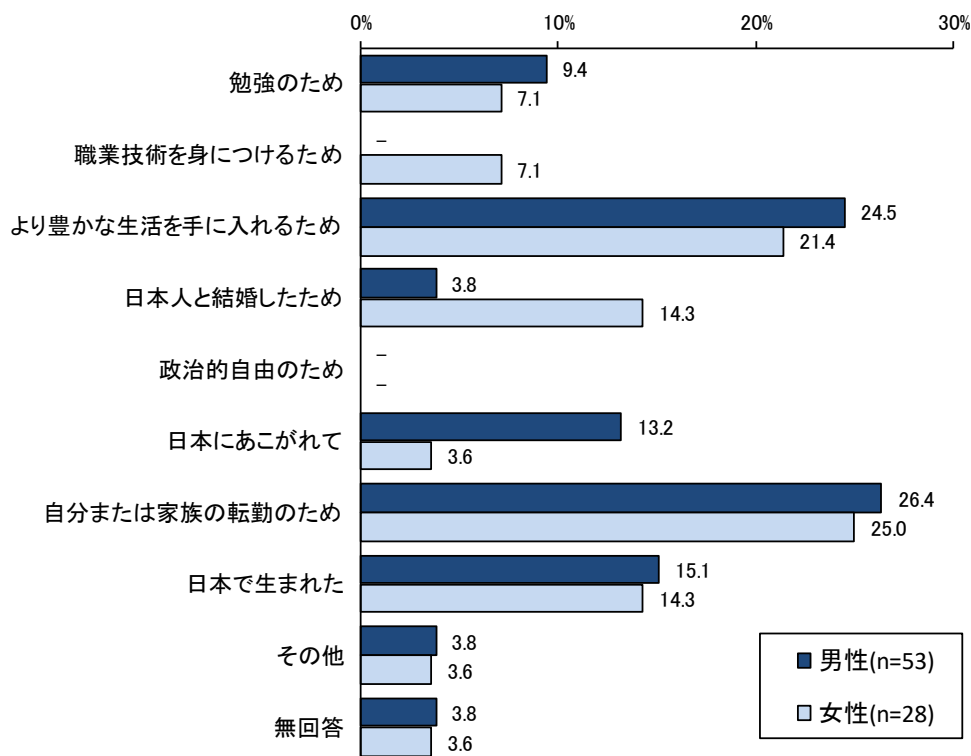
|                            |       | (%)  |   |                          |             |
|----------------------------|-------|--|---|--------------------------|-------------|
|                            | n=    | てり聞<br>い、い<br>る意た<br>味こ<br>もと<br>理が<br>解あ<br>し | 理が聞<br>解、い<br>し意た<br>て味こ<br>いはと<br>なあが<br>いまあ<br>りる | 聞<br>いた<br>こと<br>が<br>ない | 無<br>回<br>答 |
| 全体                         | 1,242 | ★43.5  | 28.3  | 25.5                     | 2.7         |
| A地区（第1北部地区）                | 73    | ★43.8  | 31.5  | 24.7                     | -           |
| B地区（第1地区中部のうち、長者町を除く）      | 86    | ★43.0  | 24.4  | 31.4                     | 1.2         |
| C地区（関内地区）                  | 44    | ★38.6  | 29.5  | 27.3                     | 4.5         |
| D地区（埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く） | 77    | ★40.3  | 24.7  | 32.5                     | 2.6         |
| E地区（寿地区のうち、扇町・長者町を除く）      | 26    | 15.4   | ★50.0   | 23.1                     | 11.5        |
| F地区（石川打越地区）                | 38    | ★36.8  | 28.9  | 31.6                     | 2.6         |
| G地区（第2地区）                  | 152   | ★44.7  | 31.6  | 21.7                     | 2.0         |
| H地区（第3地区のうち、滝之上を除く）        | 206   | ★43.2  | 25.7  | 27.2                     | 3.9         |
| I地区（第4地区南部のうち、本牧荒井を除く）     | 109   | ★45.0  | 29.4  | 20.2                     | 5.5         |
| J地区（第4地区北部のうち、山手町を除く）      | 48    | ★41.7  | 39.6  | 18.8                     | -           |
| K地区（本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く）     | 188   | ★45.7  | 27.1  | 25.0                     | 2.1         |
| L地区（第6地区のうち、山手町を除く）        | 112   | ★47.3  | 25.0  | 25.9                     | 1.8         |
| M地区（新本牧地区）                 | 74    | ★48.6  | 21.6  | 27.0                     | 2.7         |

「問 15 来日目的《外国人版調査票》」

外国人版調査票で尋ねた来日目的については、「自分または家族の転勤のため」が最も高く、次いで「より豊かな生活を手に入れるため」となっている。  
性別にみると、「日本人と結婚したため」は女性で高く、「日本にあこがれて」は男性で高くなっている。

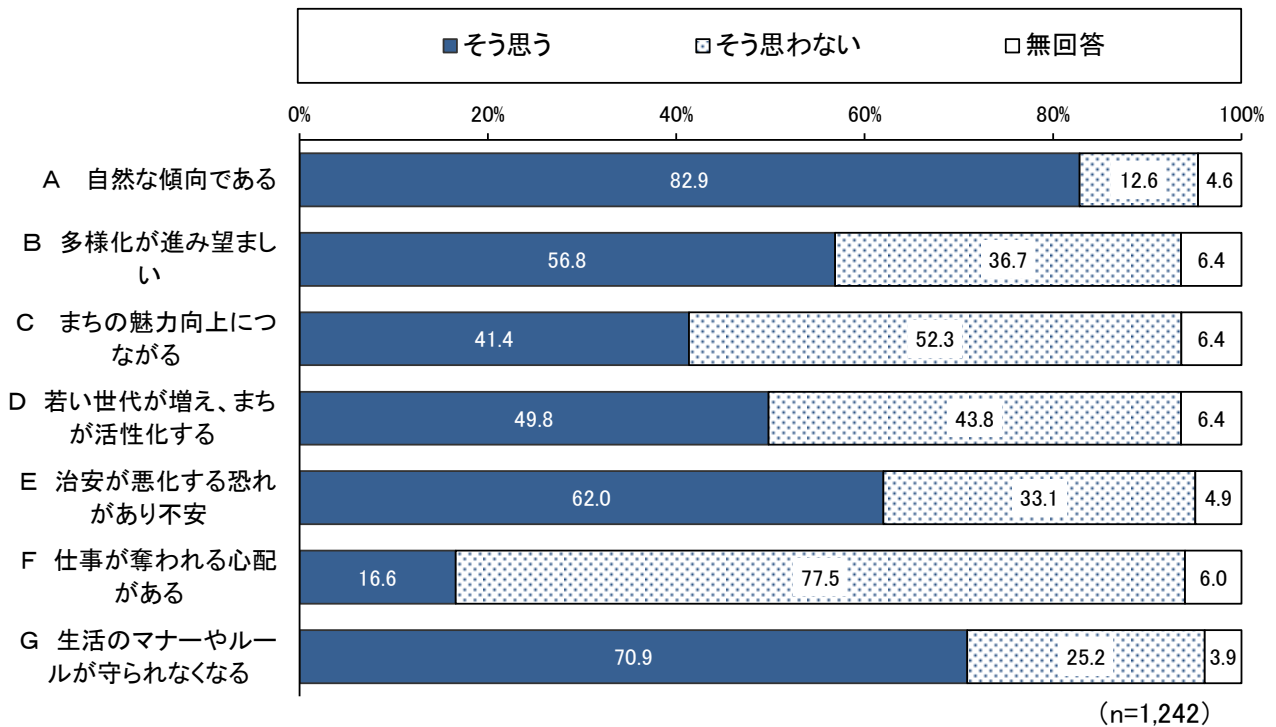


【問 15 外国人版\_性別】



「問 16 外国人増加に関する意見《日本人版調査票》」－ 1

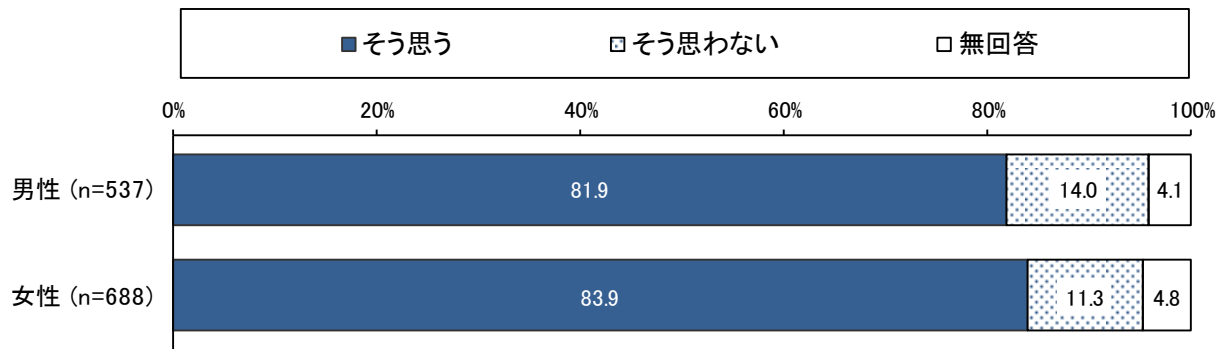
外国人増加に関する意見について日本人に尋ねたところ、[自然な傾向である] とする人は8割を超えている。また、「多様化が進み望ましい」は5割台後半、「若い世代が増え、まちが活性化する」は約5割、「まちの魅力向上につながる」は約4割の人が「そう思う」と好意的にとらえている。一方、約7割の人が「生活のマナーやルールが守られなくなる」、6割強の人が「治安が悪化する恐れがあり不安」と感じている。なお、「仕事が奪われる心配がある」と感じている人は1割半ばにとどまっている。



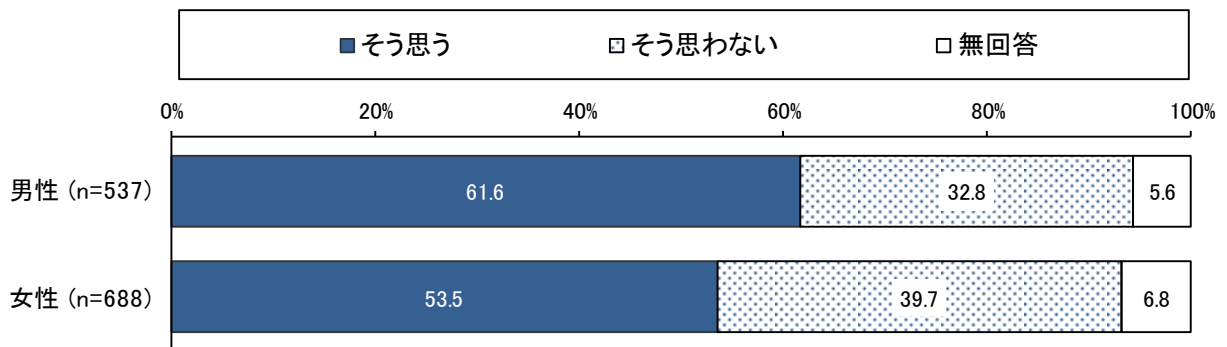
「問 16 外国人増加に関する意見《日本人版調査票》」 - 2

性別にみると、男女の差が比較的大きい項目は「多様化が進み望ましい」「若い世代が増え、まちが活性化する」で、それぞれ「そう思う」とする割合は男性の方が高くなっている。一方、「治安が悪化する恐れがあり不安」「生活のマナーやルールが守られなくなる」は、女性の方がやや高くなっている。

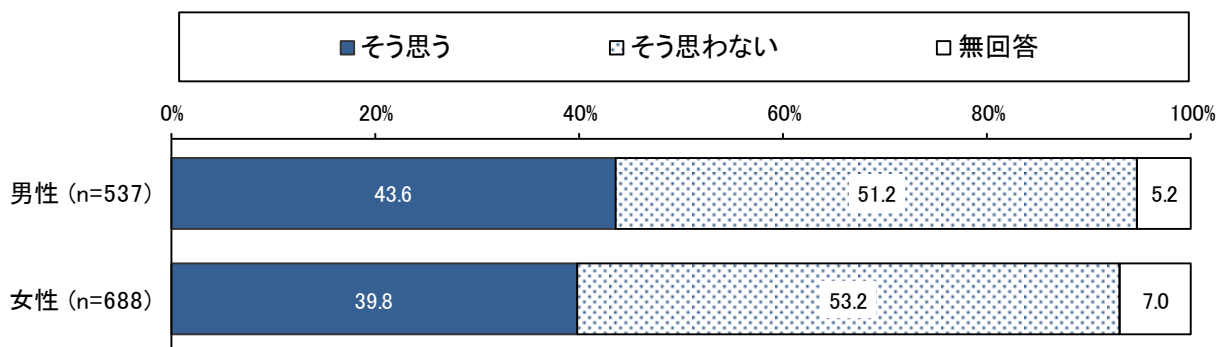
【問 16 A 自然な傾向である\_性別】



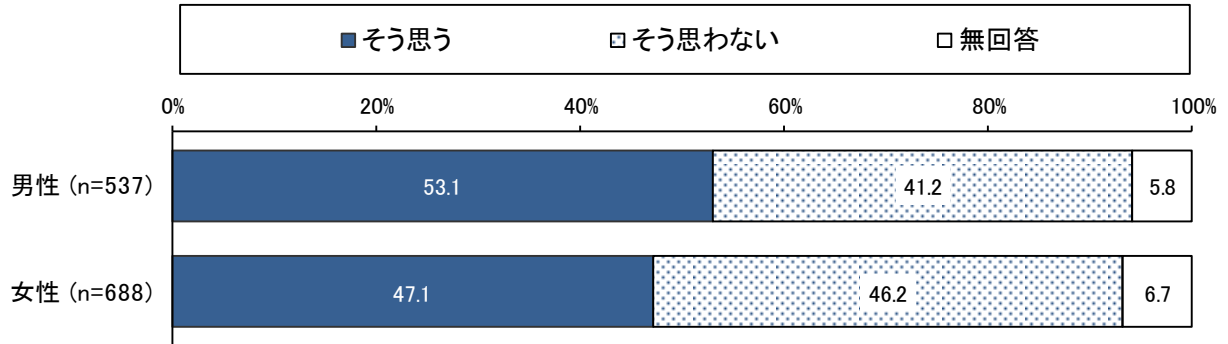
【問 16 B 多様化が進み望ましい\_性別】



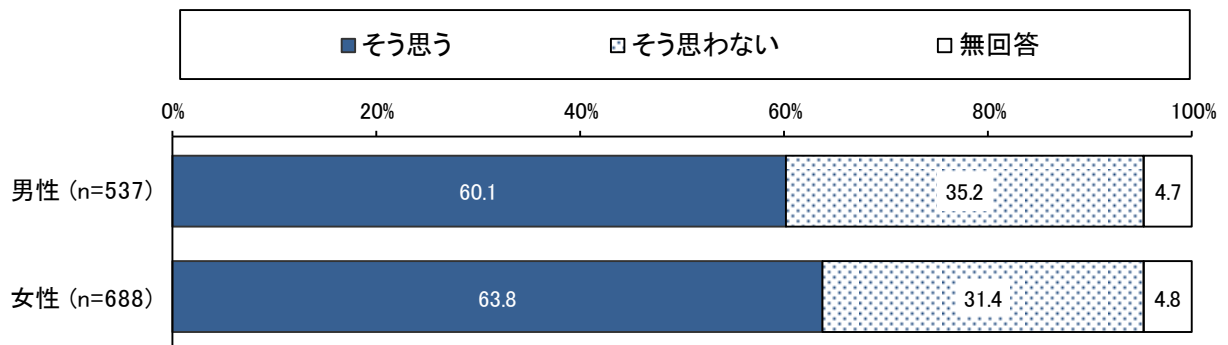
【問 16 C まちの魅力向上につながる\_性別】



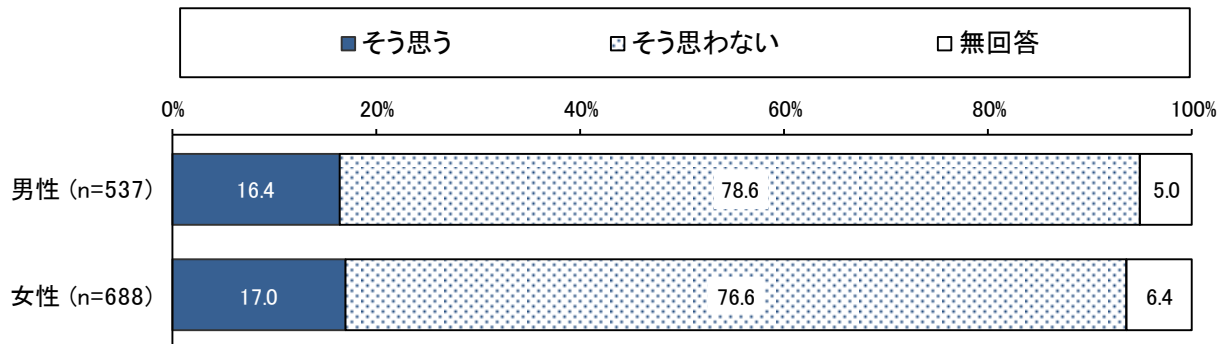
【問 16 D 若い世代が増え、まちが活性化する\_性別】



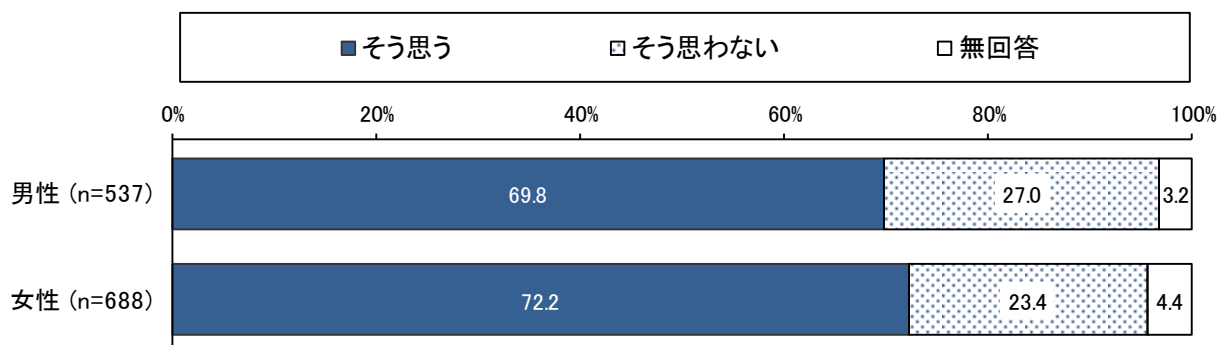
【問 16 E 治安が悪化する恐れがあり不安\_性別】



【問 16 F 仕事が奪われる心配がある\_性別】



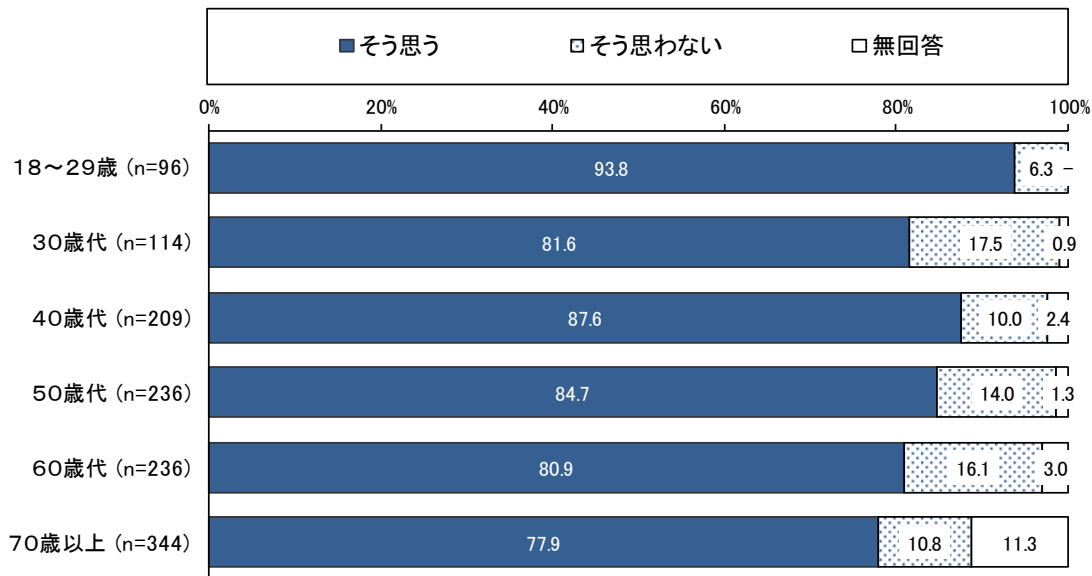
【問 16 G 生活のマナーやルールが守られなくなる\_性別】



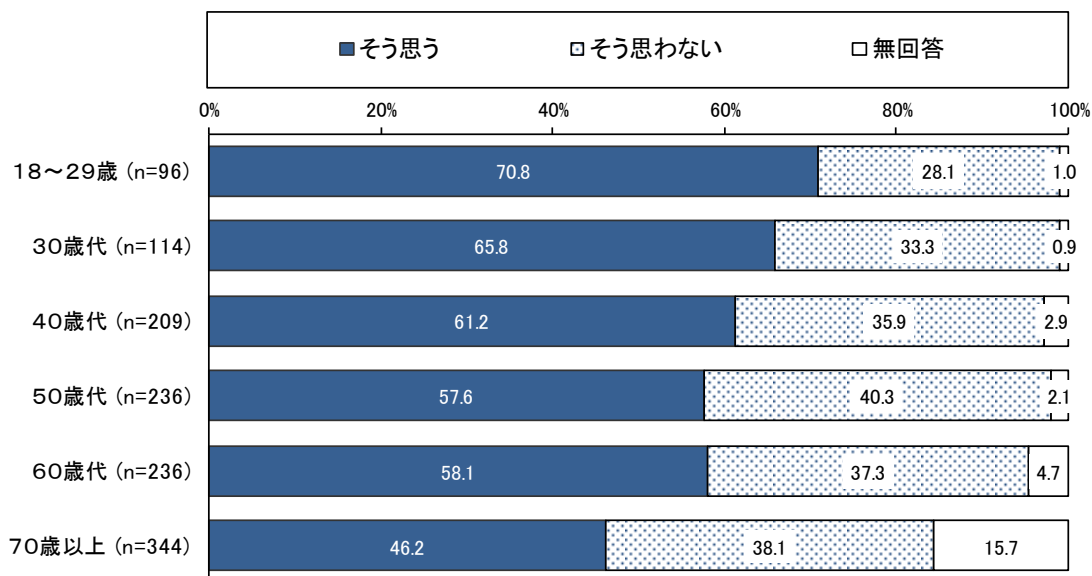
「問 16 外国人増加に関する意見《日本人版調査票》」－ 3

年代別にみると、[自然な傾向にある] [多様化が進み望ましい] [まちの魅力向上につながる] [若い世代が増え、まちが活性化する] は、**おおむね**若い年代の方が「そう思う」とする割合が高い傾向となっている。

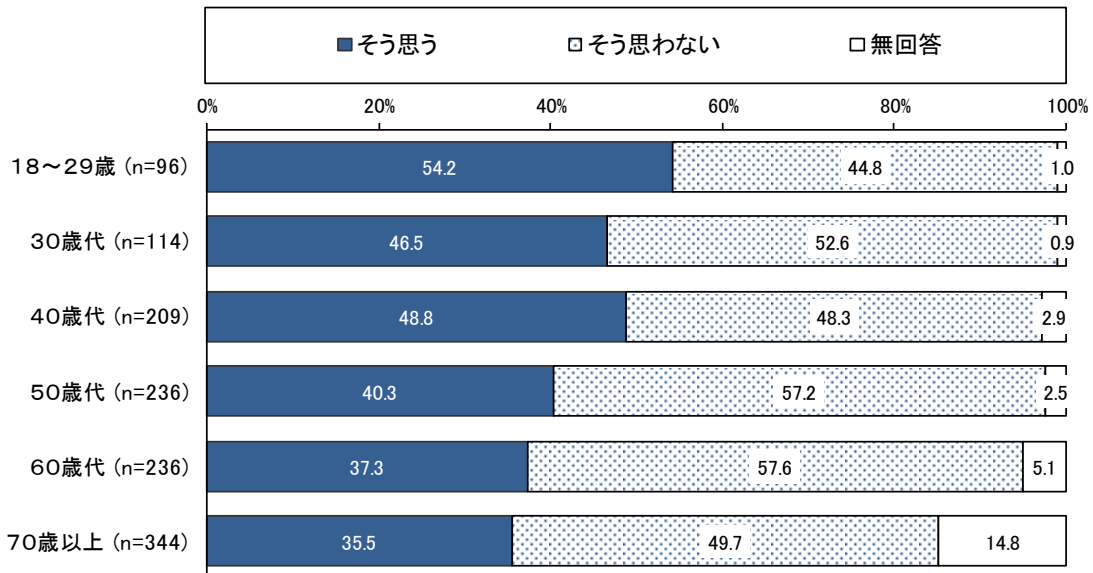
【問 16 A 自然な傾向である\_年代別】



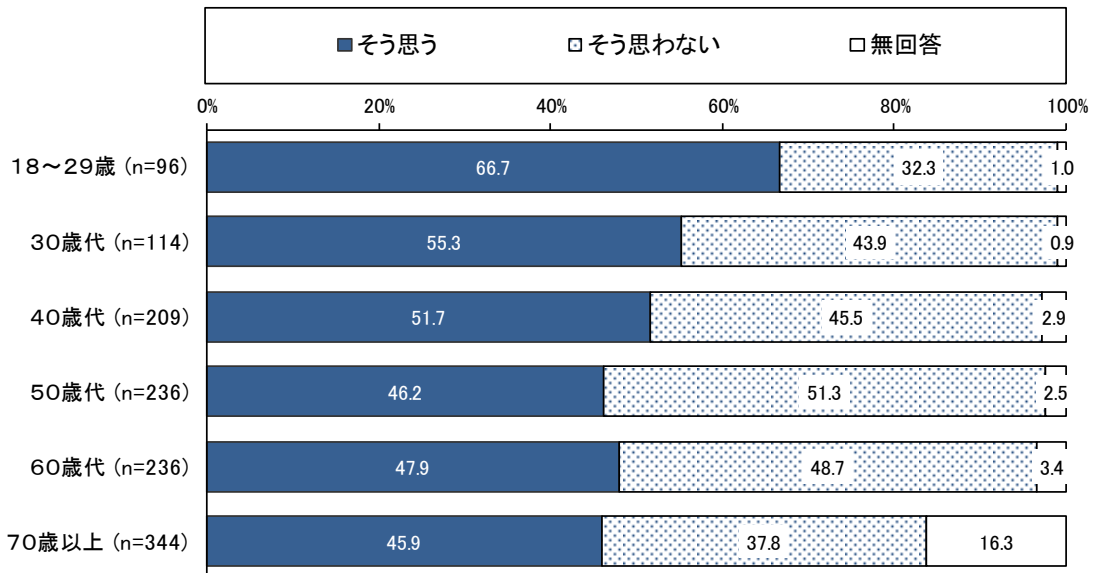
【問 16 B 多様化が進み望ましい\_年代別】



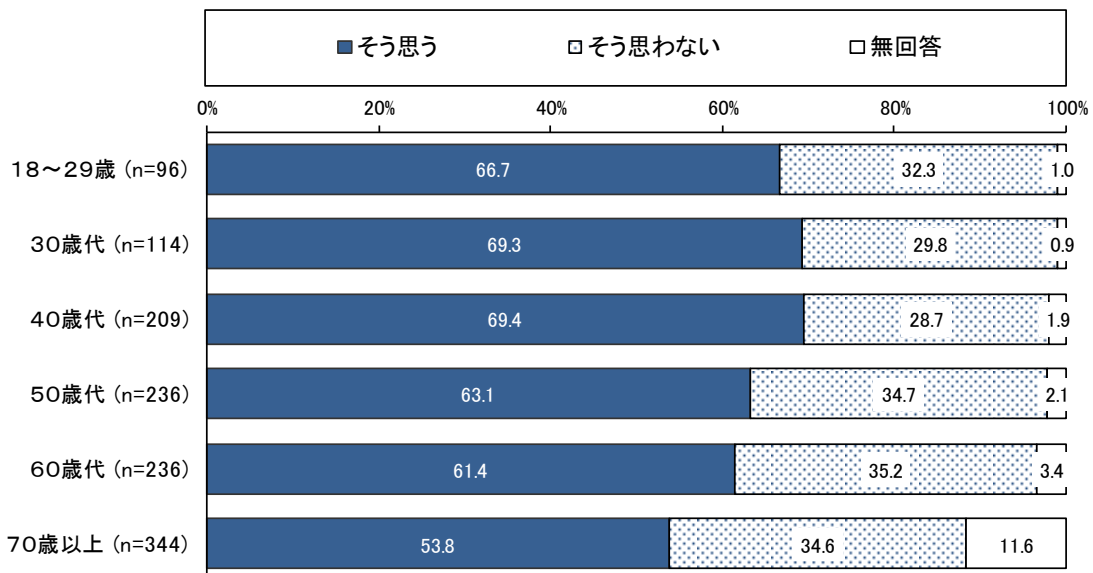
【問 16 C まちの魅力向上につながる\_年代別】



【問 16 D 若い世代が増え、まちが活性化する\_年代別】

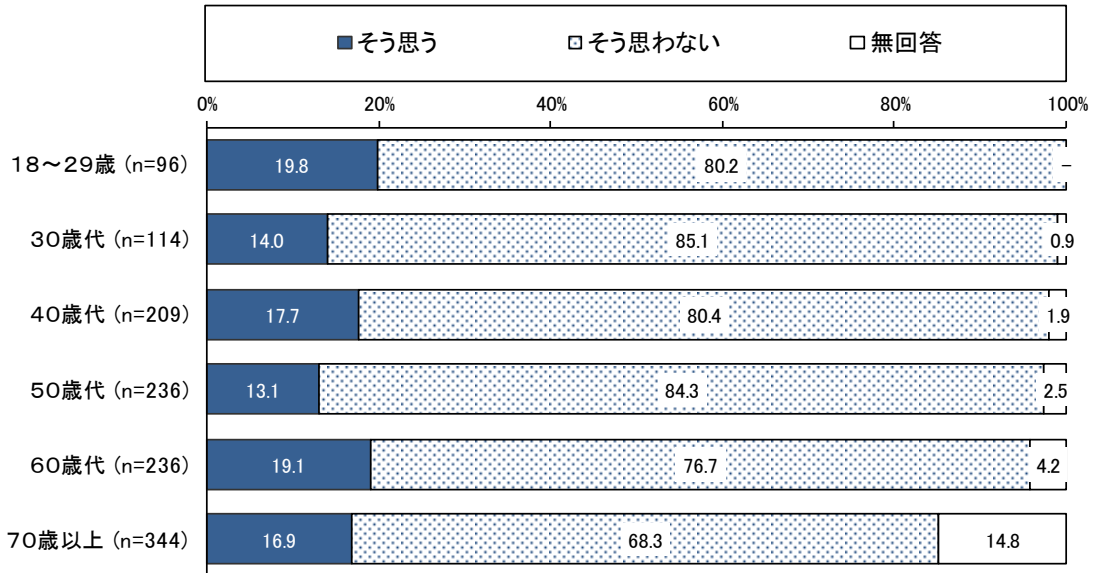


【問 16 E 治安が悪化する恐れがあり不安\_年代別】

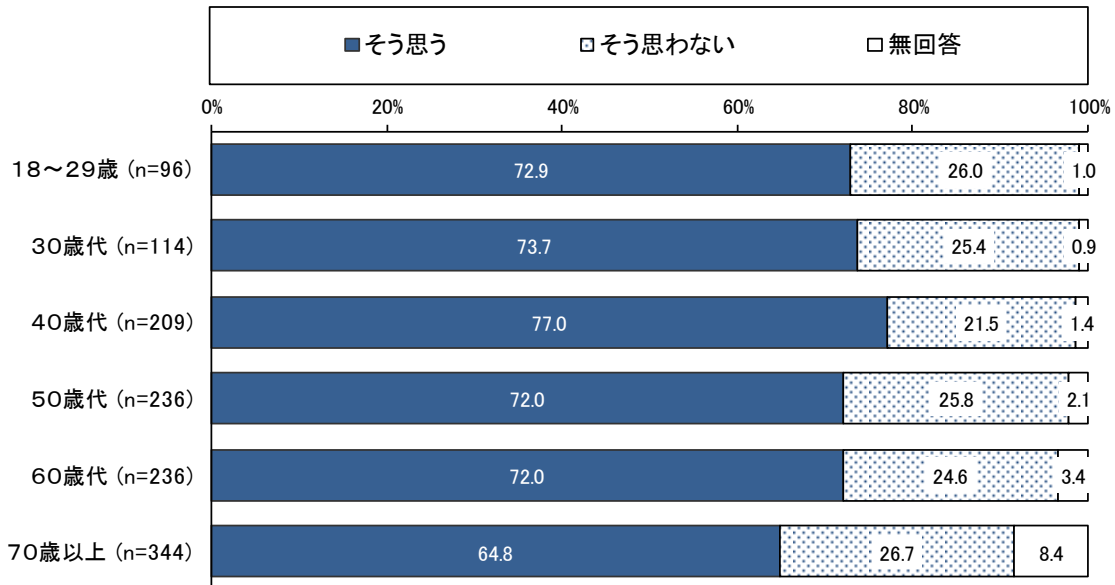




【問 16 F 仕事が奪われる心配がある\_年代別】



【問 16 G 生活のマナーやルールが守られなくなる\_年代別】

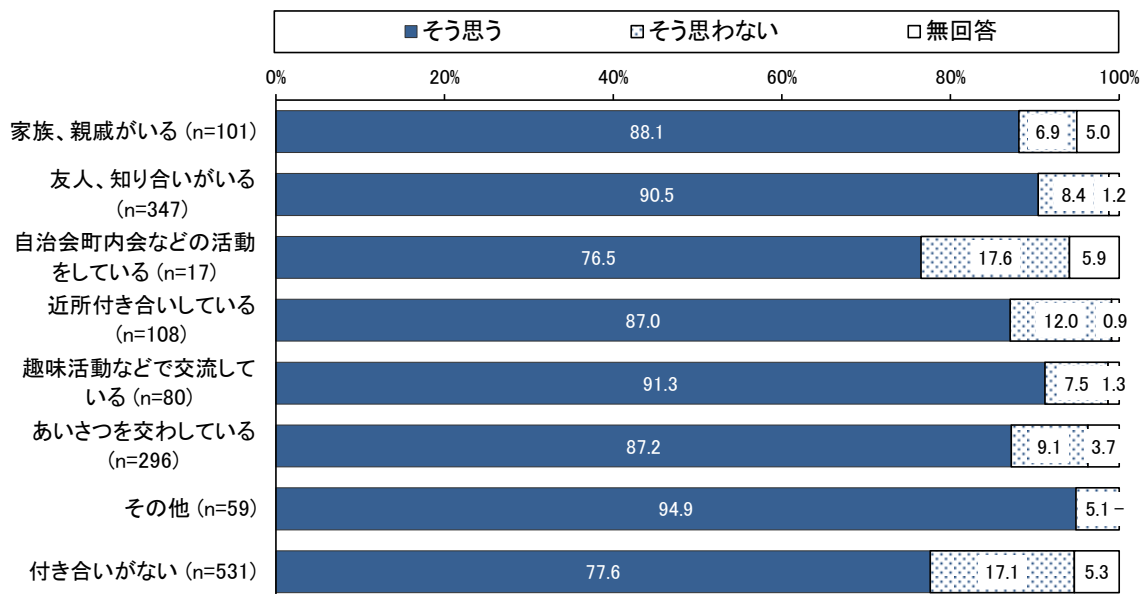


「問 16 外国人増加に関する意見《日本人版調査票》」－ 4

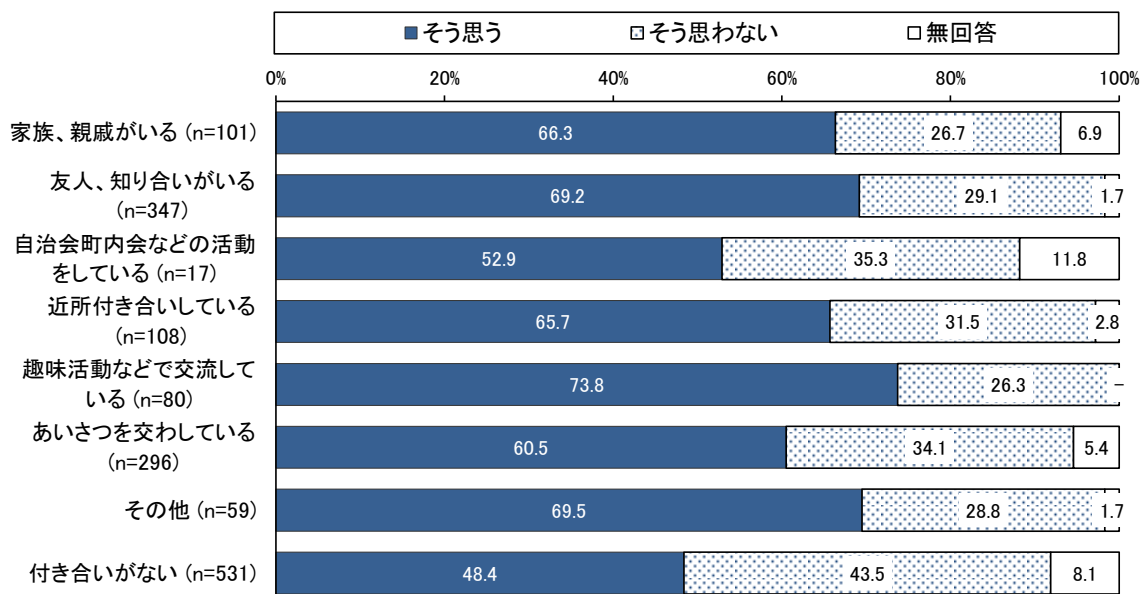
外国人との交流状況別にみると、[多様化が進み望ましい] [まちの魅力向上につながる] [若い世代が増え、まちが活性化する] などの好意的意見は、『趣味活動などで交流している』『友人、知り合いがいる』『近所付き合いしている』『その他\*』の人で高い傾向がみえる。一方、[治安が悪化する恐れがあり不安] は『付き合いがない』という人で6割半ばと高くなっている。

\* 『その他』: 主な内容は“仕事上で関わりがある” “職場にいる” など

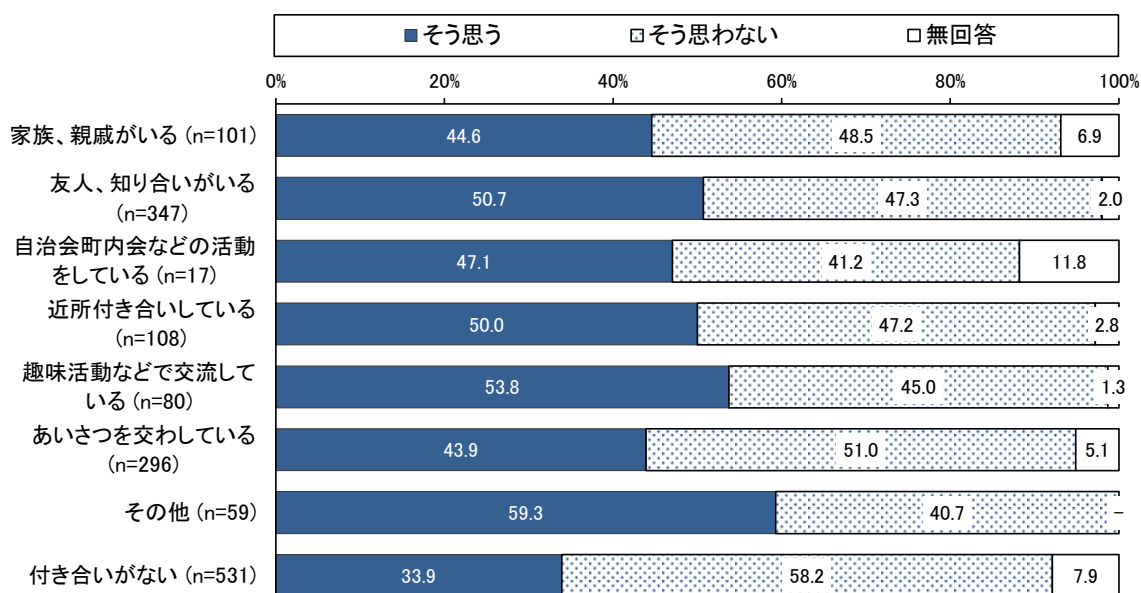
【問 16 A 自然な傾向である\_外国人との交流状況別】



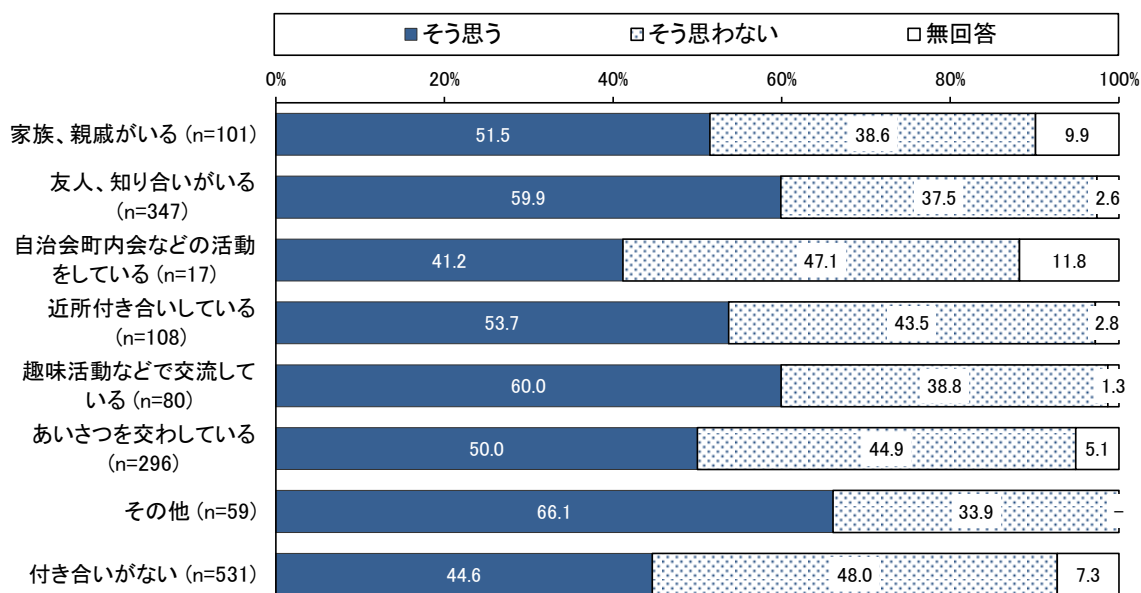
【問 16 B 多様化が進み望ましい\_外国人との交流状況別】



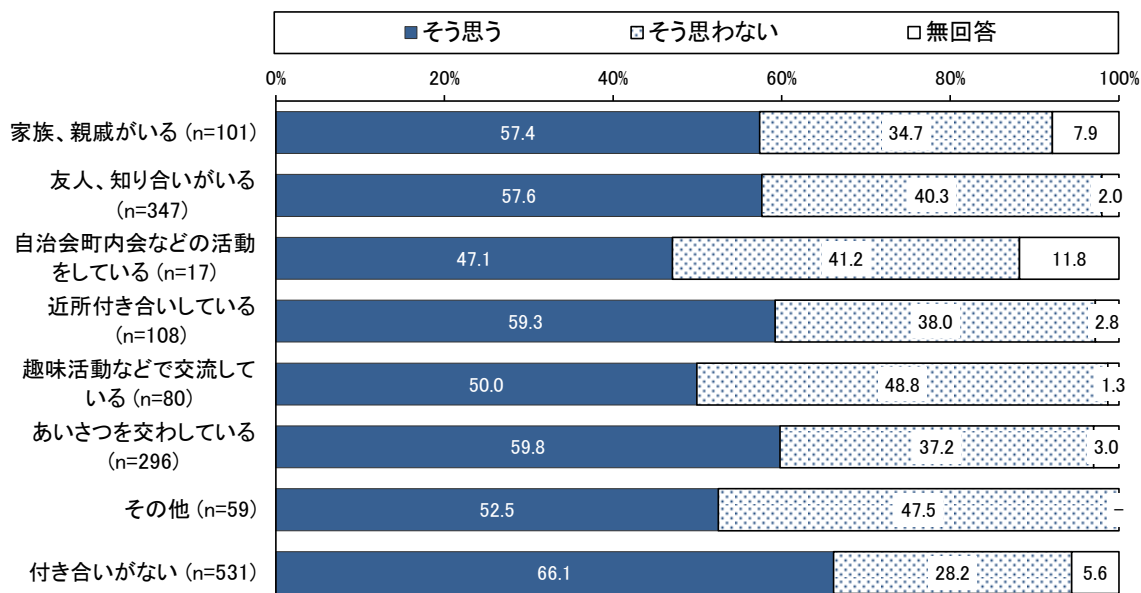
【問 16 C まちの魅力向上につながる\_外国人との交流状況別】



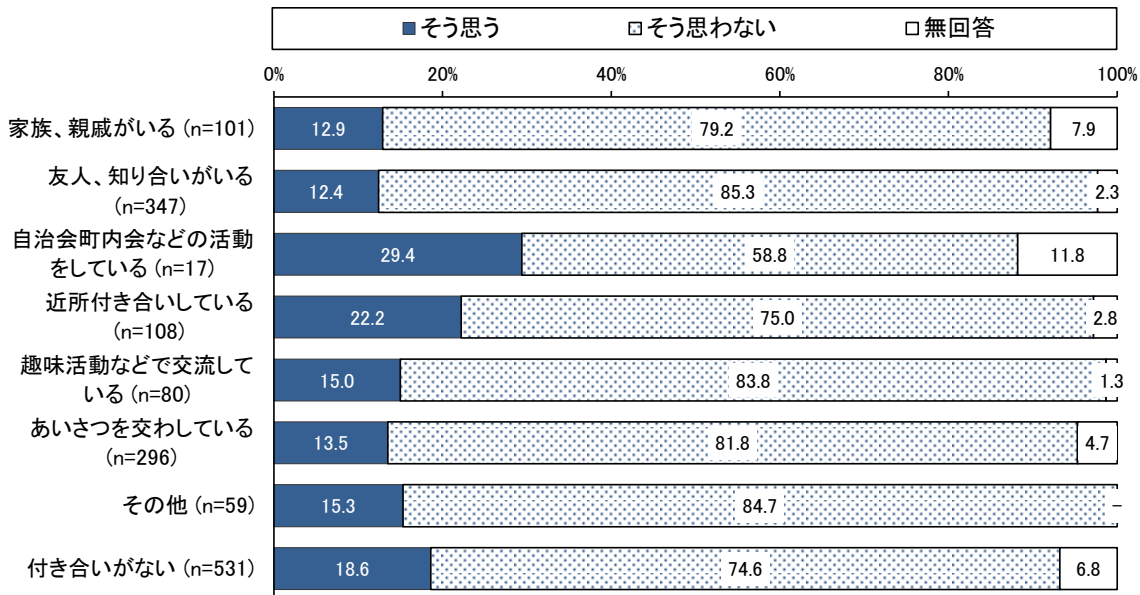
【問 16 D 若い世代が増え、まちが活性化する\_外国人との交流状況別】



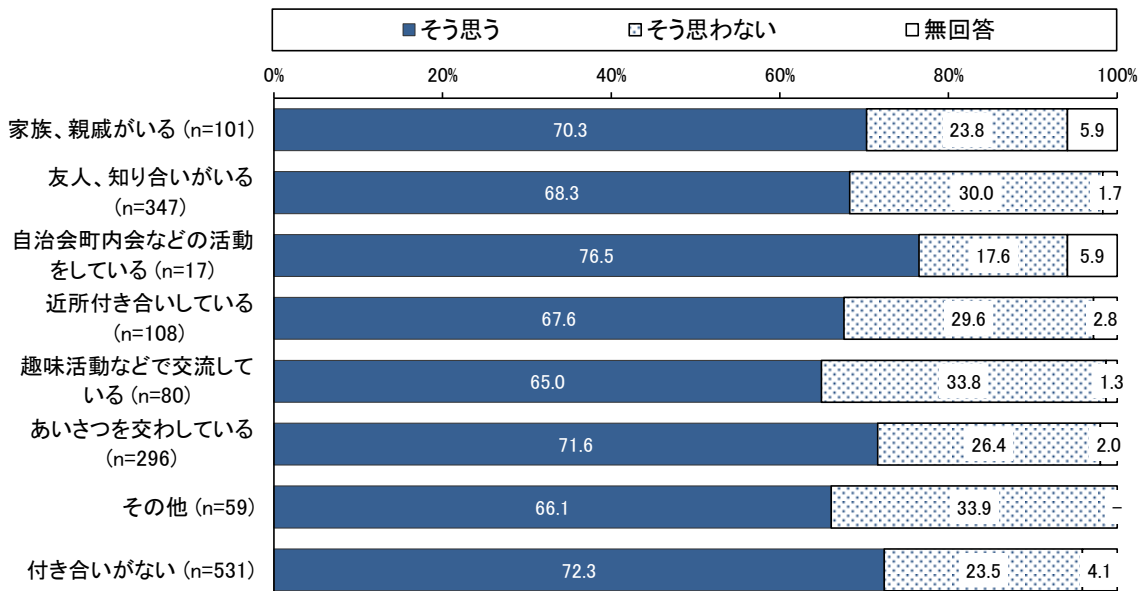
【問 16 E 治安が悪化する恐れがあり不安\_外国人との交流状況別】



【問 16 F 仕事が奪われる心配がある\_外国人との交流状況別】



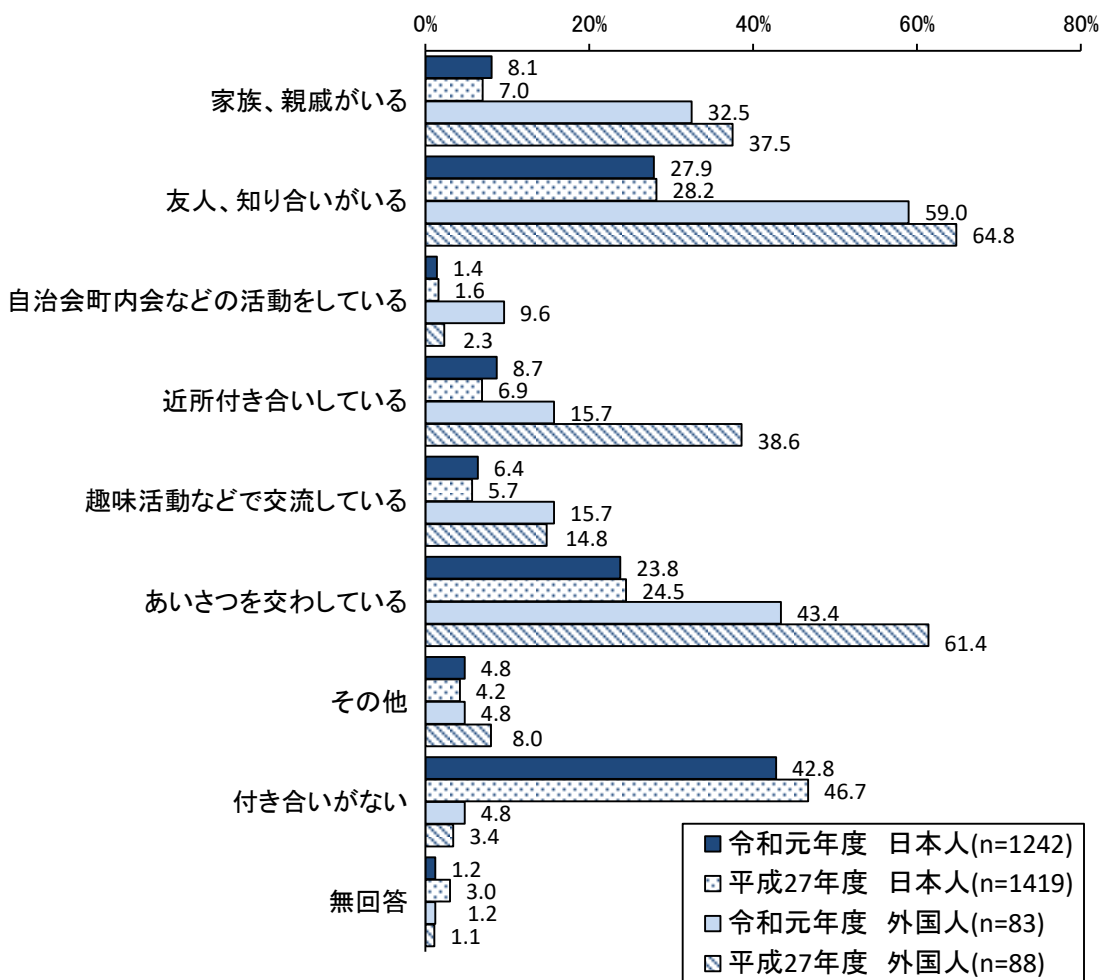
【問 16 G 生活のマナーやルールが守られなくなる\_外国人との交流状況別】



「問 17 外国人／日本人の方とどのような交流があるか」（複数回答）－ 1

日本人は外国人と、外国人は日本人と、それぞれどのような交流があるか尋ねた。日本人の調査結果では、「付き合いがない」の割合が最も高く、次いで「友人、知り合いがいる」「あいさつを交わしている」の順となった。平成 27 年度に比べ「付き合いがない」の割合がやや低くなっている。外国人の調査結果では、「友人、知り合いがいる」の割合が最も高く、次いで「あいさつを交わしている」「家族、親戚がいる」の順となっている。平成 27 年度に比べ、「あいさつを交わしている」「近所付き合いしている」の割合が大きく下がっている。

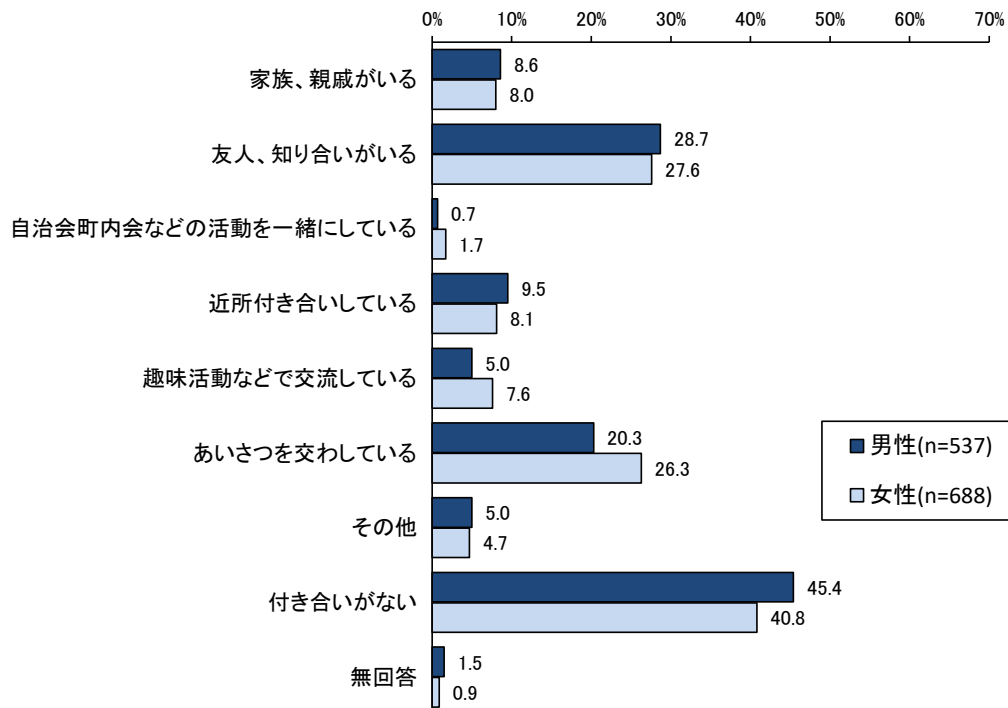
【問 17\_日本人／外国人別\_経年比較】



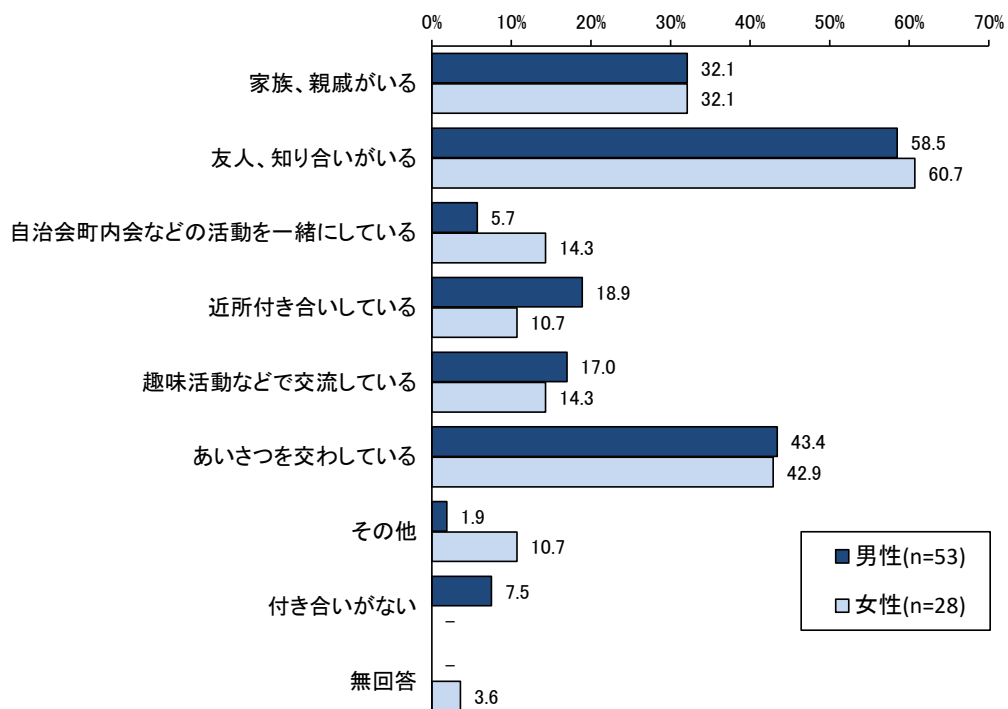
「問 17 外国人／日本人の方とどのような交流があるか」（複数回答）－ 2

性別にみると、日本人・外国人ともに、男性の方が女性よりも「付き合いがない」の割合が高くなっている。外国人の女性では「付き合いがない」とする人はいなかった。

【問 17\_性別（日本人）】



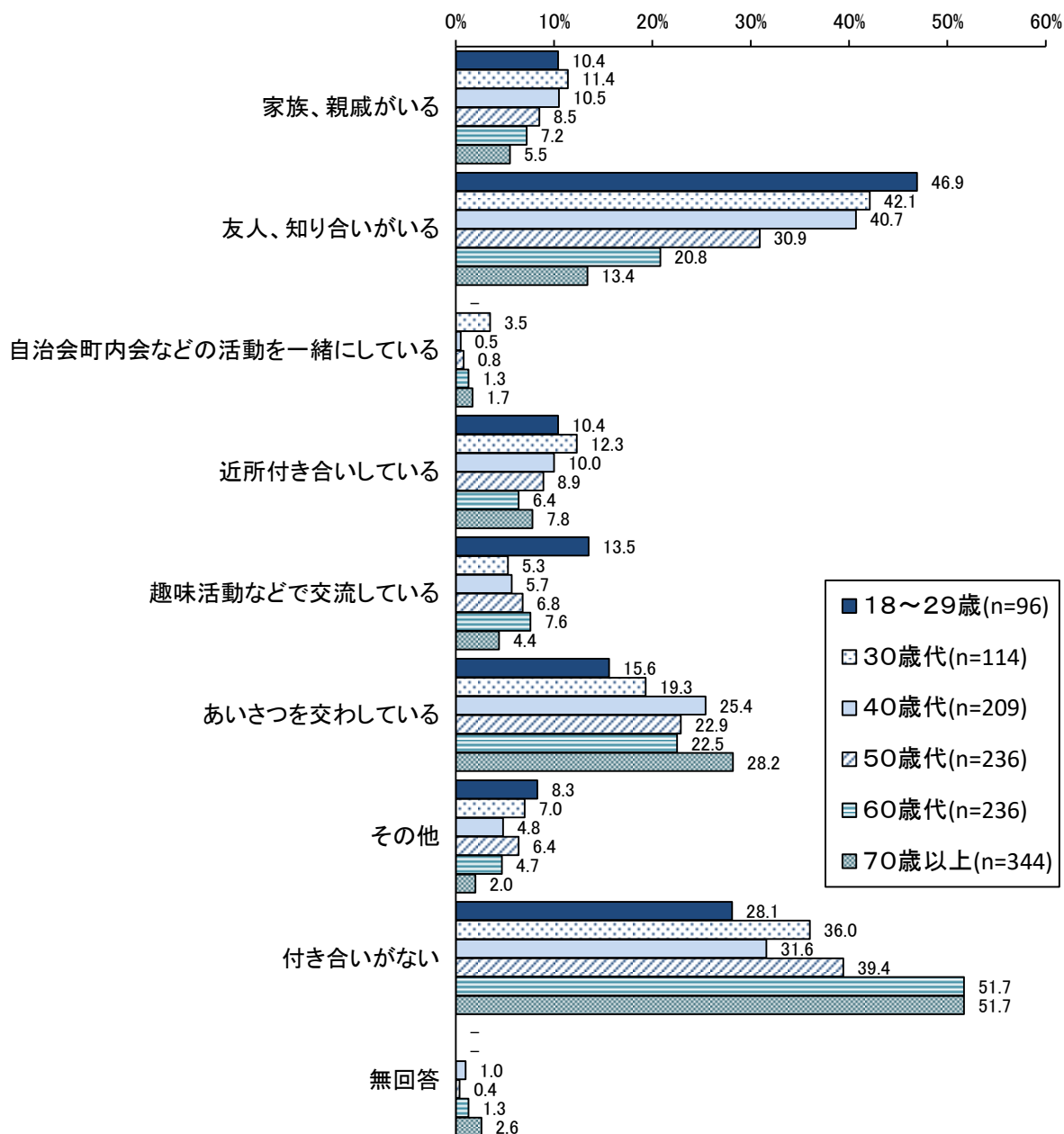
【問 17\_性別（外国人）】



「問 17 外国人／日本人の方とどのような交流があるか」（複数回答）－ 3

日本人の調査結果を年代別にみると、「友人、知り合いがいる」は、18～29歳で4割台後半と最も高く、年代が上がるにつれ割合は低くなる傾向となっている。一方、「付き合いがない」は60歳代・70歳以上で半数を超え高くなっている。

【問 17\_年代別（日本人）】



「問 17 外国人／日本人の方とどのような交流があるか」（複数回答）－ 4

日本人の調査結果を地区別にみると、「友人、知り合いがいる」はL地区が3割半ばで最も高く、「近所付き合いしている」はM地区・I地区が1割半ばで高くなっている。「付き合いがない」はB地区、E地区、C地区、A地区の順で高く、この4地区は5割を超えている。

【問 17\_地区別（日本人）】

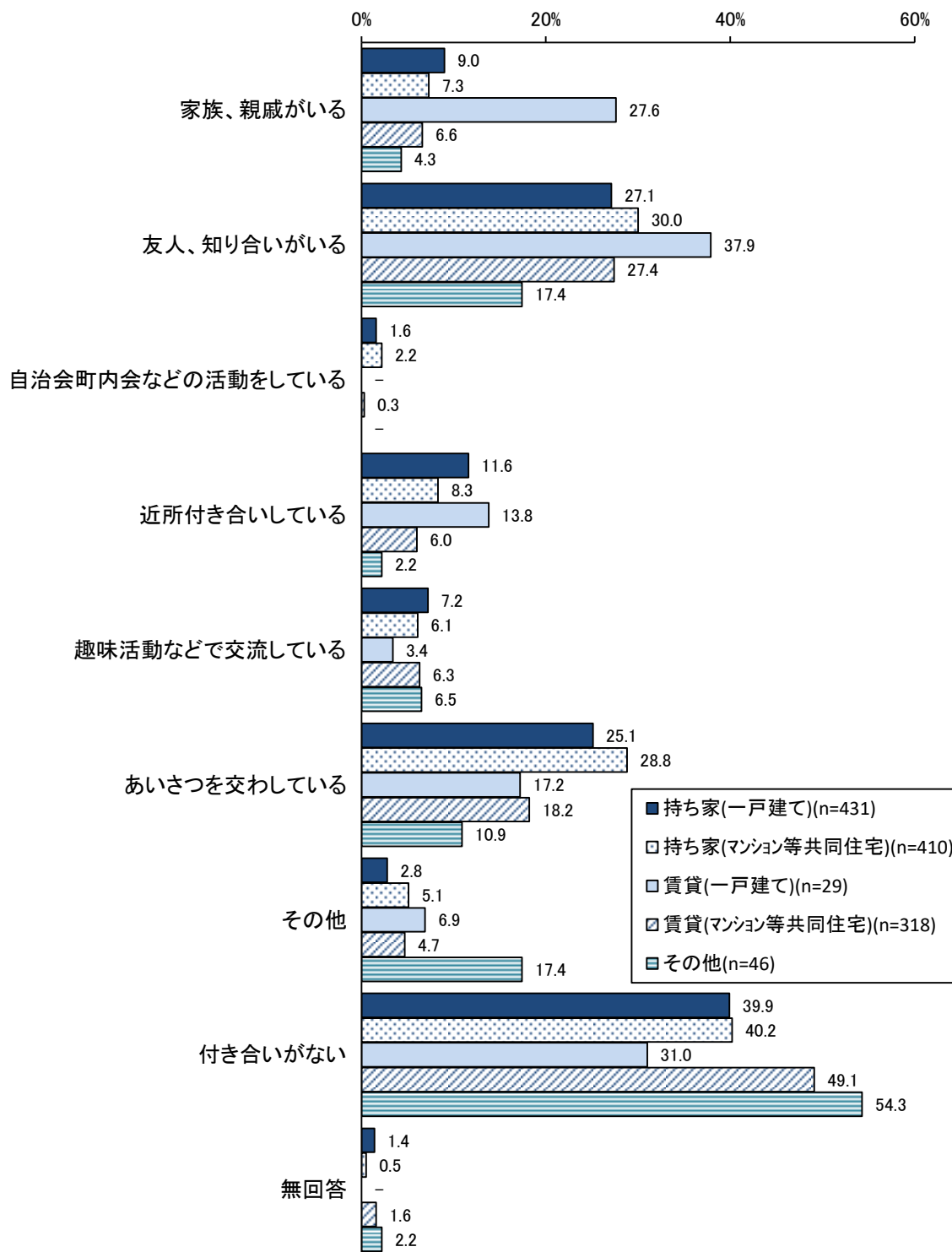
|                            |       | (%)              |                        |  |  |   |   |             |                                 |             |
|----------------------------|-------|------------------|------------------------|--|--|---|---|-------------|---------------------------------|-------------|
|                            | n=    | 家族、<br>親戚が<br>いる | 友人、<br>知り合<br>いがい<br>る | 自治会<br>町内会<br>などの<br>活<br>動をし<br>てい<br>る | 近所<br>付<br>き<br>合<br>い<br>し<br>て<br>い<br>る | 趣<br>味<br>活<br>動<br>な<br>ど<br>で<br>交<br>流<br>し<br>て<br>い<br>る | あ<br>い<br>さ<br>つ<br>を<br>交<br>わ<br>し<br>て<br>い<br>る | そ<br>の<br>他 | 付<br>き<br>合<br>い<br>が<br>な<br>い | 無<br>回<br>答 |
| 全体                         | 1,242 | 8.1              | 27.9                   | 1.4                                      | 8.7  | 6.4   | 23.8  | 4.8         | ★42.8                           | 1.2         |
| A地区（第1北部地区）                | 73    | 11.0             | 27.4                   | -  | 6.8  | 1.4   | 17.8  | 4.1         | ★50.7                           | -           |
| B地区（第1地区中部のうち、長者町を除く）      | 86    | 7.0              | 18.6                   | 1.2                                      | 7.0  | 5.8   | 26.7  | 10.5        | ★54.7                           | -           |
| C地区（関内地区）                  | 44    | -                | 27.3                   | -  | 2.3  | -   | 15.9  | 9.1         | ★52.3                           | 2.3         |
| D地区（埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く） | 77    | 7.8              | 22.1                   | 3.9                                      | 5.2  | 6.5   | 22.1  | 3.9         | ★45.5                           | 1.3         |
| E地区（寿地区のうち、扇町・長者町を除く）      | 26    | 7.7              | 26.9                   | -  | 11.5                                       | -   | 15.4  | 7.7         | ★53.8                           | 7.7         |
| F地区（石川打越地区）                | 38    | 10.5             | 23.7                   | -  | 7.9  | 13.2  | 15.8  | 2.6         | ★44.7                           | -           |
| G地区（第2地区）                  | 152   | 9.9              | 28.3                   | 1.3                                      | 10.5                                       | 6.6   | 30.3  | 3.9         | ★39.5                           | 0.7         |
| H地区（第3地区のうち、滝之上を除く）        | 206   | 8.7              | 31.1                   | 1.5                                      | 7.8  | 7.8   | 23.8  | 3.9         | ★39.8                           | 0.5         |
| I地区（第4地区南部のうち、本牧荒井を除く）     | 109   | 12.8             | 31.2                   | 0.9                                      | 14.7                                       | 7.3   | 22.0  | 4.6         | ★33.9                           | 3.7         |
| J地区（第4地区北部のうち、山手町を除く）      | 48    | 6.3              | 20.8                   | -  | 2.1  | 4.2   | 31.3  | 4.2         | ★39.6                           | -           |
| K地区（本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く）     | 188   | 6.4              | 28.2                   | 2.1                                      | 8.0  | 9.0   | 25.0  | 4.8         | ★41.5                           | 0.5         |
| L地区（第6地区のうち、山手町を除く）        | 112   | 6.3              | 34.8                   | 1.8                                      | 8.9  | 3.6   | 20.5  | 4.5         | ★43.8                           | 2.7         |
| M地区（新本牧地区）                 | 74    | 8.1              | 29.7                   | 1.4                                      | 14.9                                       | 9.5   | 28.4  | 2.7         | ★37.8                           | -           |



「問 17 外国人／日本人の方とどのような交流があるか」（複数回答）－ 5

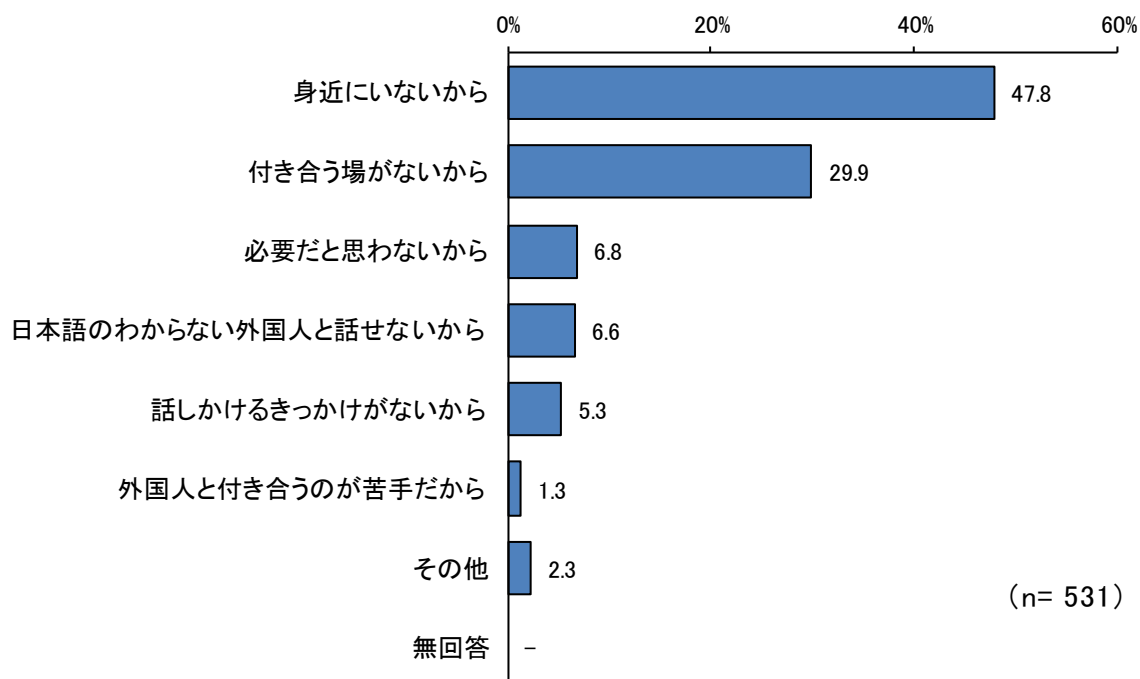
日本人の調査結果を居住形態別にみると、「友人、知り合いがいる」「家族、親戚がいる」「近所付き合いしている」は賃貸（一戸建て）居住者が最も高く、「あいさつを交わしている」は持ち家（マンション等共同住宅）居住者が最も高くなっている。

【問 17\_居住形態別（日本人）】



### 「問 18 外国人との交流がない理由 《日本人版調査票》」

外国人との交流がない理由について日本人に尋ねたところ、「身近にいないから」が4割台後半で最も高く、次いで「付き合う場がないから」が約3割となっている。「必要だと思わないから」「日本語のわからない外国人と話せないから」「話しかけるきっかけがないから」「外国人と付き合うのが苦手だから」は、それぞれ1割未満となっている。



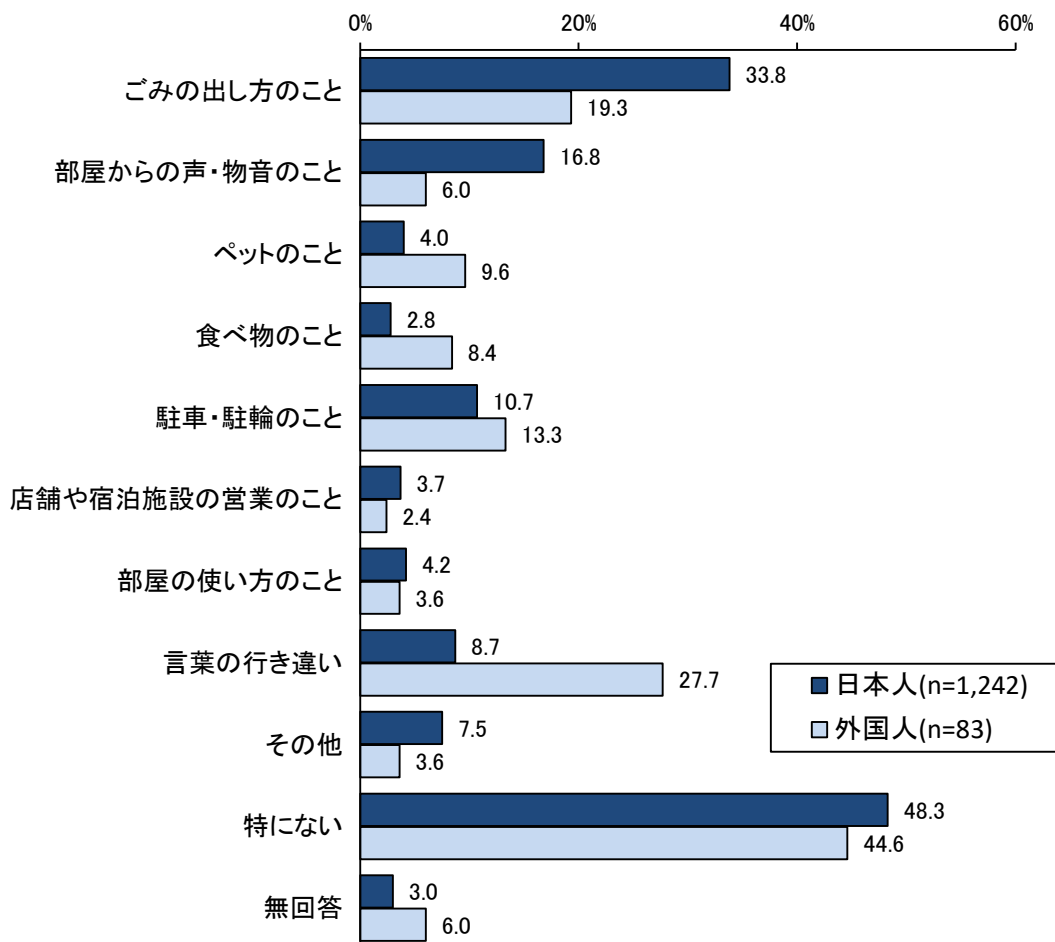
「問 19 外国人／日本人との生活で戸惑った経験」(複数回答) - 1

外国人／日本人との生活で戸惑った経験について日本人／外国人に尋ねたところ、日本人・外国人ともに、「特にない」の割合が最も高くなっている。

戸惑った経験の内容としては、**日本人の回答**では「ごみの出し方のこと」が3割強、「部屋からの声・物音のこと」が1割台後半、「駐車・駐輪のこと」が約1割などとなっている。「その他」の内容としては、“マナーがよくない”などのマナーに関する内容が多くみられた。

**外国人の回答**では、「言葉の行き違い」が2割台後半、「ごみの出し方のこと」が2割弱、「駐車・駐輪のこと」が1割台前半などとなっている。

【問 19\_日本人／外国人別】



「問 19 外国人／日本人との生活で戸感った経験」(複数回答) - 2

日本人の調査結果を地区別にみると、「ごみの出し方のこと」はF地区、B地区で5割を超え高くなっている。「特にない」は、M地区、L地区、K地区で約6割と高くなっている。

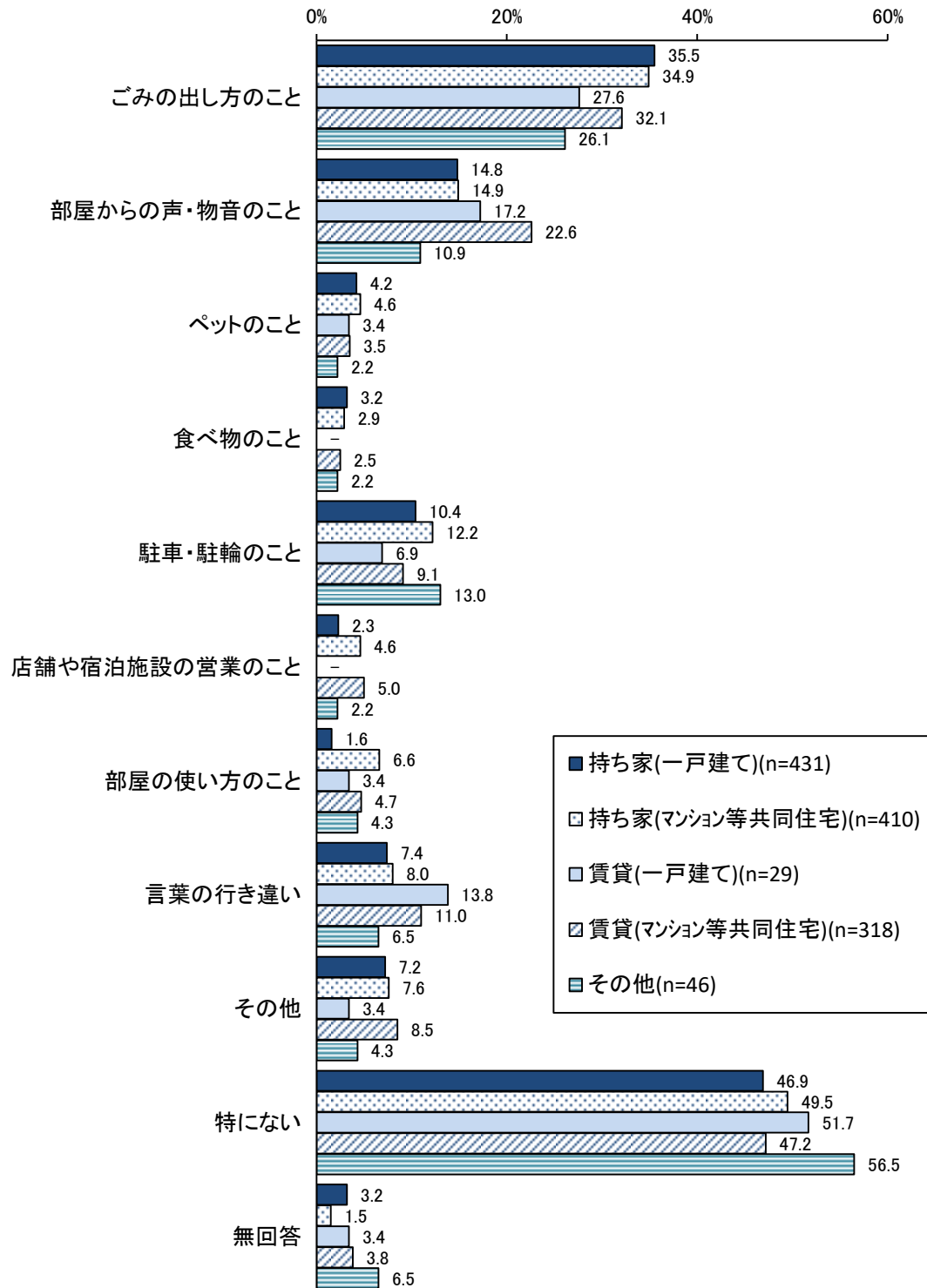
【問 19\_地区別 (日本人)】

|                             |       |           |              |        |        |          |               |           |         |      |       |      | (%) |
|-----------------------------|-------|-----------|--------------|--------|--------|----------|---------------|-----------|---------|------|-------|------|-----|
|                             | n=    | ごみの出し方のこと | 部屋からの声・物音のこと | ペットのこと | 食べ物のこと | 駐車・駐輪のこと | 店舗や宿泊施設の営業のこと | 部屋の使い方のこと | 言葉の行き違い | その他  | 特にない  | 無回答  |     |
| 全体                          | 1,242 | 33.8      | 16.8         | 4.0    | 2.8    | 10.7     | 3.7           | 4.2       | 8.7     | 7.5  | ★48.3 | 3.0  |     |
| A地区 (第1北部地区)                | 73    | ★46.6     | 28.8         | 5.5    | 1.4    | 15.1     | 8.2           | 5.5       | 11.0    | 11.0 | 37.0  | -    |     |
| B地区 (第1地区中部のうち、長者町を除く)      | 86    | ★51.2     | 26.7         | 9.3    | 7.0    | 17.4     | 10.5          | 11.6      | 10.5    | 9.3  | 30.2  | 1.2  |     |
| C地区 (関内地区)                  | 44    | 25.0      | 25.0         | 2.3    | 6.8    | 6.8      | 4.5           | 6.8       | -       | 4.5  | ★50.0 | 9.1  |     |
| D地区 (埋地地区のうち、寿町・松影町・三吉町を除く) | 77    | ★44.2     | 26.0         | 10.4   | 6.5    | 19.5     | 3.9           | 13.0      | 11.7    | 14.3 | 33.8  | 5.2  |     |
| E地区 (寿地区のうち、扇町・長者町を除く)      | 26    | ★38.5     | 19.2         | -      | 3.8    | 34.6     | 3.8           | 7.7       | 19.2    | 3.8  | 30.8  | 15.4 |     |
| F地区 (石川打越地区)                | 38    | ★52.6     | 18.4         | -      | 5.3    | 15.8     | -             | -         | 13.2    | 13.2 | 26.3  | 5.3  |     |
| G地区 (第2地区)                  | 152   | ★42.8     | 17.1         | 5.3    | 3.3    | 9.9      | 6.6           | 4.6       | 11.2    | 7.2  | 42.1  | 2.0  |     |
| H地区 (第3地区のうち、滝之上を除く)        | 206   | 34.0      | 13.1         | 2.4    | 1.9    | 10.7     | 2.4           | 2.4       | 5.3     | 6.8  | ★52.9 | 1.9  |     |
| I地区 (第4地区南部のうち、本牧荒井を除く)     | 109   | 28.4      | 11.9         | 1.8    | -      | 7.3      | 2.8           | 1.8       | 6.4     | 6.4  | ★52.3 | 4.6  |     |
| J地区 (第4地区北部のうち、山手町を除く)      | 48    | 39.6      | 27.1         | 2.1    | 2.1    | 12.5     | 2.1           | -         | 8.3     | 2.1  | ★43.8 | 2.1  |     |
| K地区 (本牧・根岸地区のうち、本牧原を除く)     | 188   | 21.8      | 10.6         | 3.2    | 2.7    | 5.3      | 2.7           | 3.2       | 8.0     | 7.4  | ★59.0 | 2.1  |     |
| L地区 (第6地区のうち、山手町を除く)        | 112   | 18.8      | 8.9          | 3.6    | -      | 6.3      | 0.9           | 2.7       | 13.4    | 6.3  | ★59.8 | 2.7  |     |
| M地区 (新本牧地区)                 | 74    | 23.0      | 13.5         | 2.7    | 1.4    | 5.4      | -             | -         | 2.7     | 5.4  | ★63.5 | 2.7  |     |

「問 19 外国人／日本人との生活で戸感った経験」(複数回答) - 3

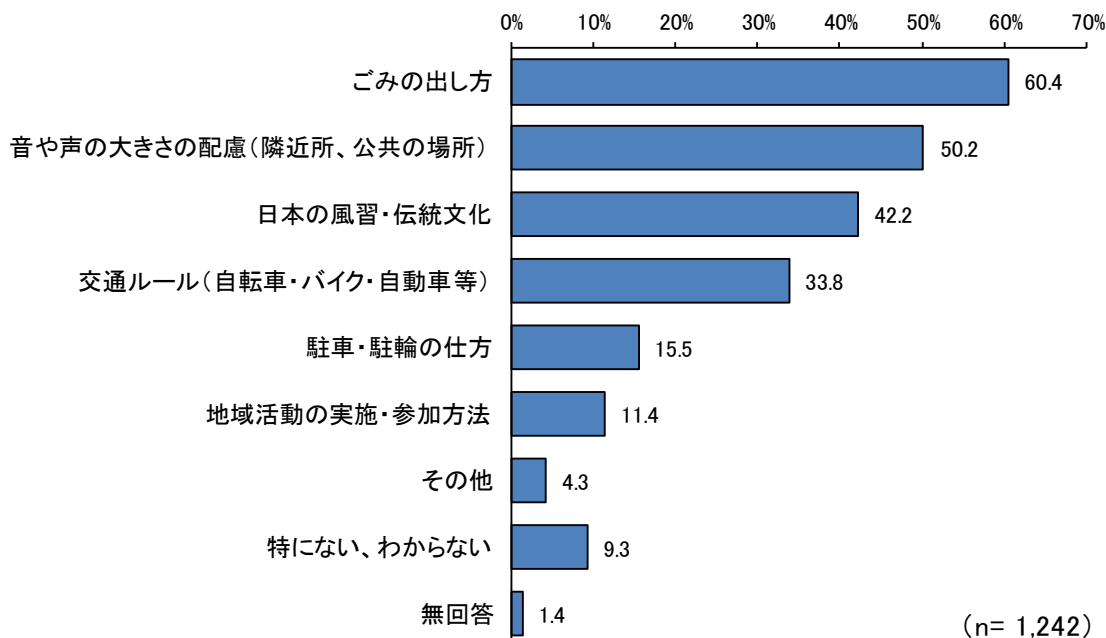
日本人の調査結果を居住形態別にみると、「ごみの出し方のこと」は、持ち家居住者と賃貸(マンション等共同住宅)居住者で高くなっている。「部屋からの声・物音のこと」は、賃貸(マンション等共同住宅)居住者で唯一2割を超えている。

【問 19\_居住形態別(日本人)】



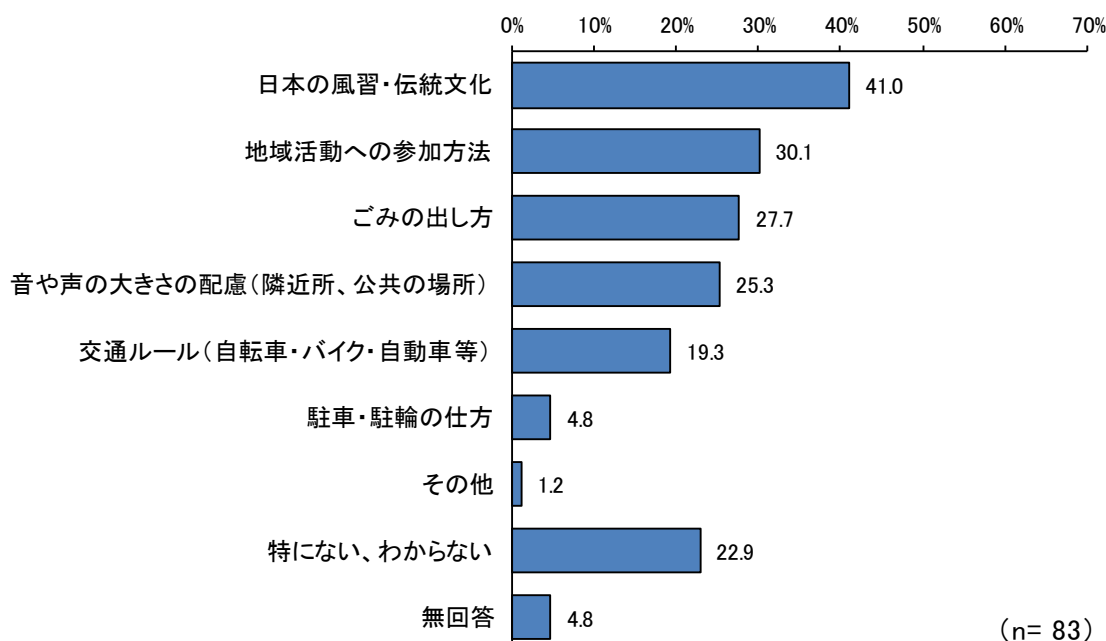
「問 20 外国人に知ってほしいこと《日本人版調査票》」（3つまで回答）

外国人に知ってほしいことを日本人に尋ねたところ、「ごみの出し方のこと」が約6割で最も高く、次いで「音や声の大きさの配慮（隣近所、公共の場所）」が約5割となっている。以下、「日本の風習・伝統文化」「交通ルール（自転車・バイク・自動車等）」と続いている。



「問 20 日本のルール・習慣で知りたいこと《外国人版調査票》」（3つまで回答）

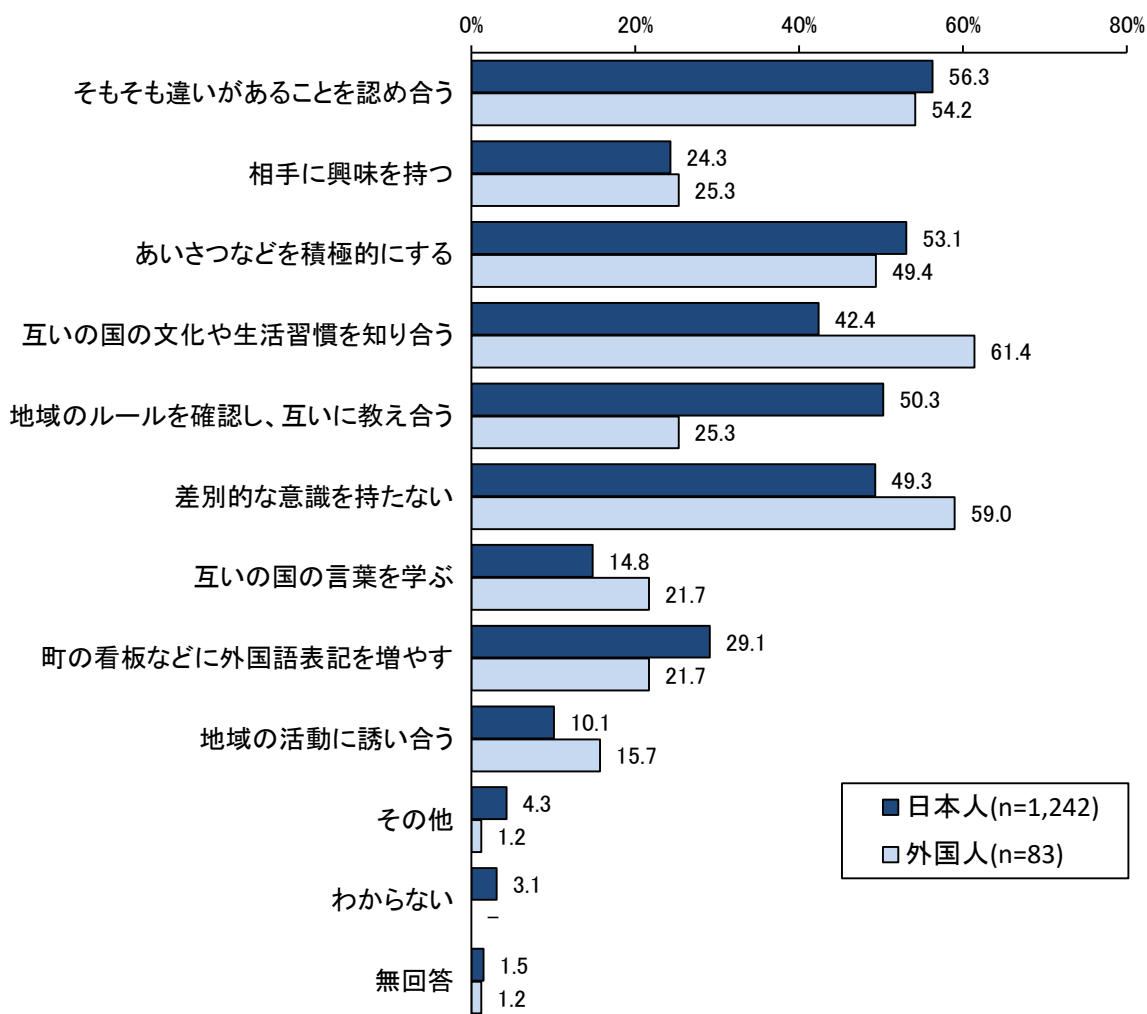
日本のルール・習慣で知りたいことを外国人に尋ねたところ、「日本の風習・伝統文化」が約4割で最も高く、次いで「地域活動への参加方法」が約3割となっている。以下、「ごみの出し方」「音や声の大きさの配慮（隣近所、公共の場所）」などの順で続いている。



「問 21 日本人と外国人がともにより良く暮らすために必要だと思うこと」（複数回答）

日本人と外国人がともにより良く暮らすために必要だと思うことを日本人・外国人それぞれに尋ねた。日本人の調査結果では、「そもそも違いがあることを認め合う」が5割半ばで最も高く、次いで「あいさつなどを積極的にする」「地域のルールを確認し、互いに教え合う」「差別的な意識を持たない」の順となっている。一方、外国人の調査結果では、「互いの国の文化や生活習慣を知り合う」が6割を超え最も高く、次いで「差別的な意識を持たない」「そもそも違いがあることを認め合う」「あいさつなどを積極的にする」の順となっている。

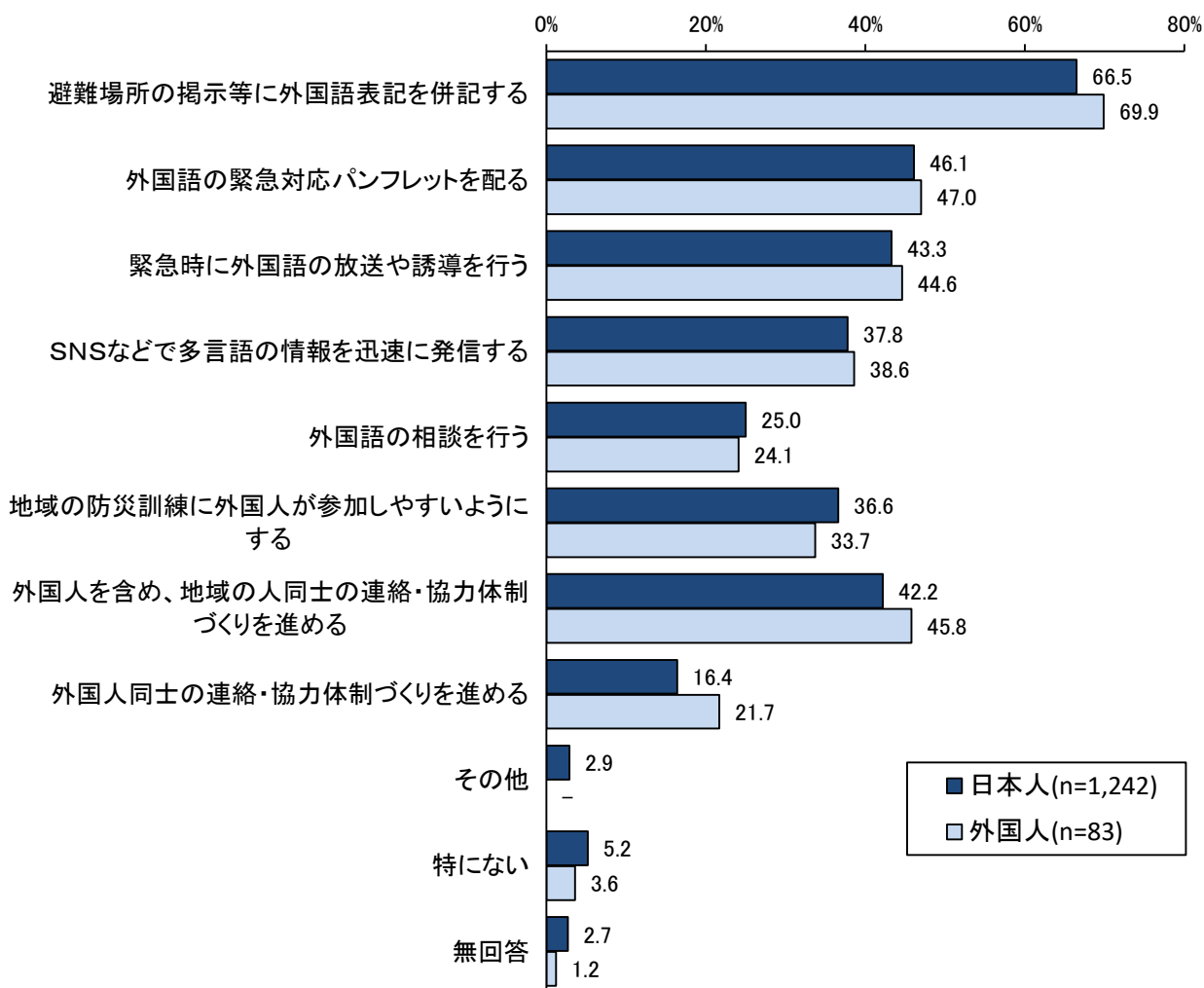
【問 21\_日本人／外国人別】



「問 22 災害時、区役所に望む対策」（複数回答）

地震等の災害時、日本人・外国人を含む全ての住民が協力し合うことが求められる中、**区役所にどのような対策を望むか**を日本人・外国人それぞれに尋ねた。日本人・外国人ともに、「避難場所の掲示等に外国語表記を併記する」が最も高く、次いで「外国語の緊急対応パンフレットを配る」という結果となった。以下、「緊急時に外国語の放送や誘導を行う」「外国人を含め、地域の人同士の連絡・協力体制づくりを進める」「SNSなどで多言語の情報を迅速に発信する」までが日本人・外国人とも上位5項目を占めており、一部順位が異なるものの、**おおむね**傾向は似ている。日本人と外国人の差が比較的大きなものとしては、「外国人同士の連絡・協力体制づくりを進める」で外国人の方が高い割合を示している。

【問 22\_日本人／外国人別】

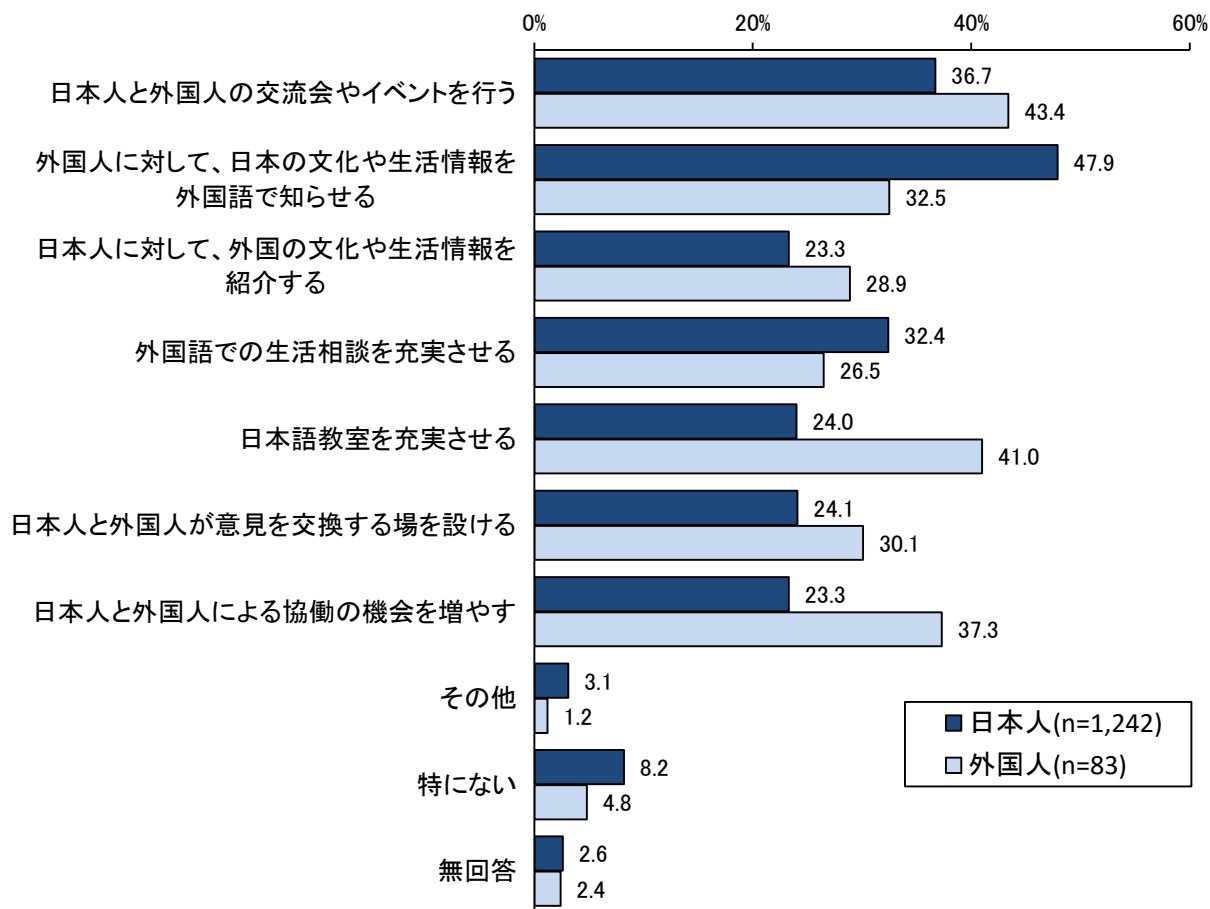




「問 23 「多文化共生のまちづくり」の推進のため区が力を入れるべきだと思うこと」（3つまで回答） - 1

「多文化共生のまちづくり」の推進のため区がどのようなことに力を入れるべきかを日本人・外国人それぞれに尋ねた。日本人の調査結果では、「外国人に対して、日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」が5割近くで最も高く、次いで「日本人と外国人の交流会やイベントを行う」「外国語での生活相談を充実させる」が3割台で続いている。外国人の調査結果では、「日本人と外国人の交流会やイベントを行う」が最も高く、次いで「日本語教室を充実させる」「日本人と外国人による協働の機会を増やす」の順となっている。

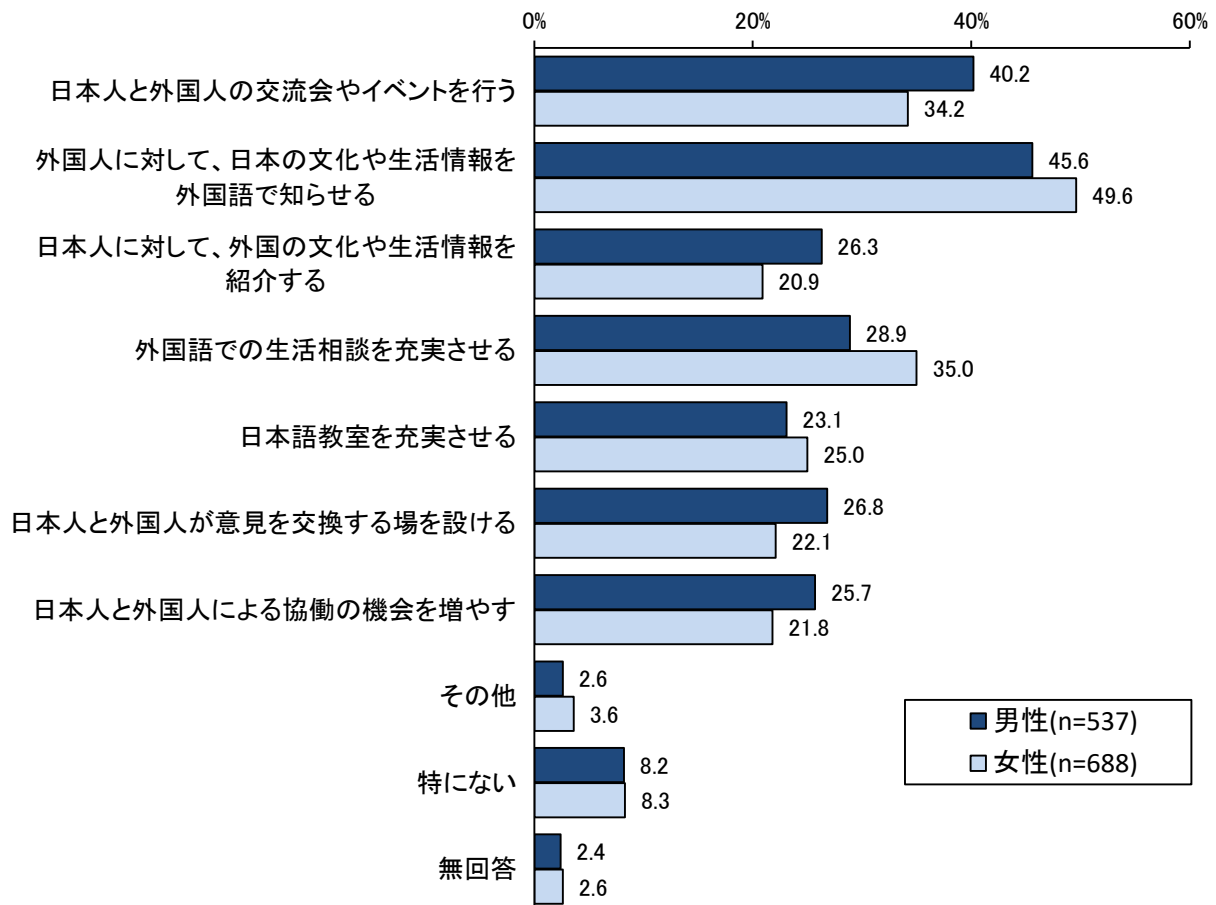
【問 23\_日本人／外国人別】



「問 23 「多文化共生のまちづくり」の推進のため区が力を入れるべきだと思うこと」（3つまで回答）－ 2

日本人の調査結果を性別で見ると、「日本人と外国人の交流会やイベントを行う」「日本人に対して、外国の文化や生活情報を紹介する」「日本人と外国人が意見を交換する場を設ける」「日本人と外国人による協働の機会を増やす」は男性で高く、「外国人に対して、日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」「外国語での生活相談を充実させる」は女性で高くなっている。

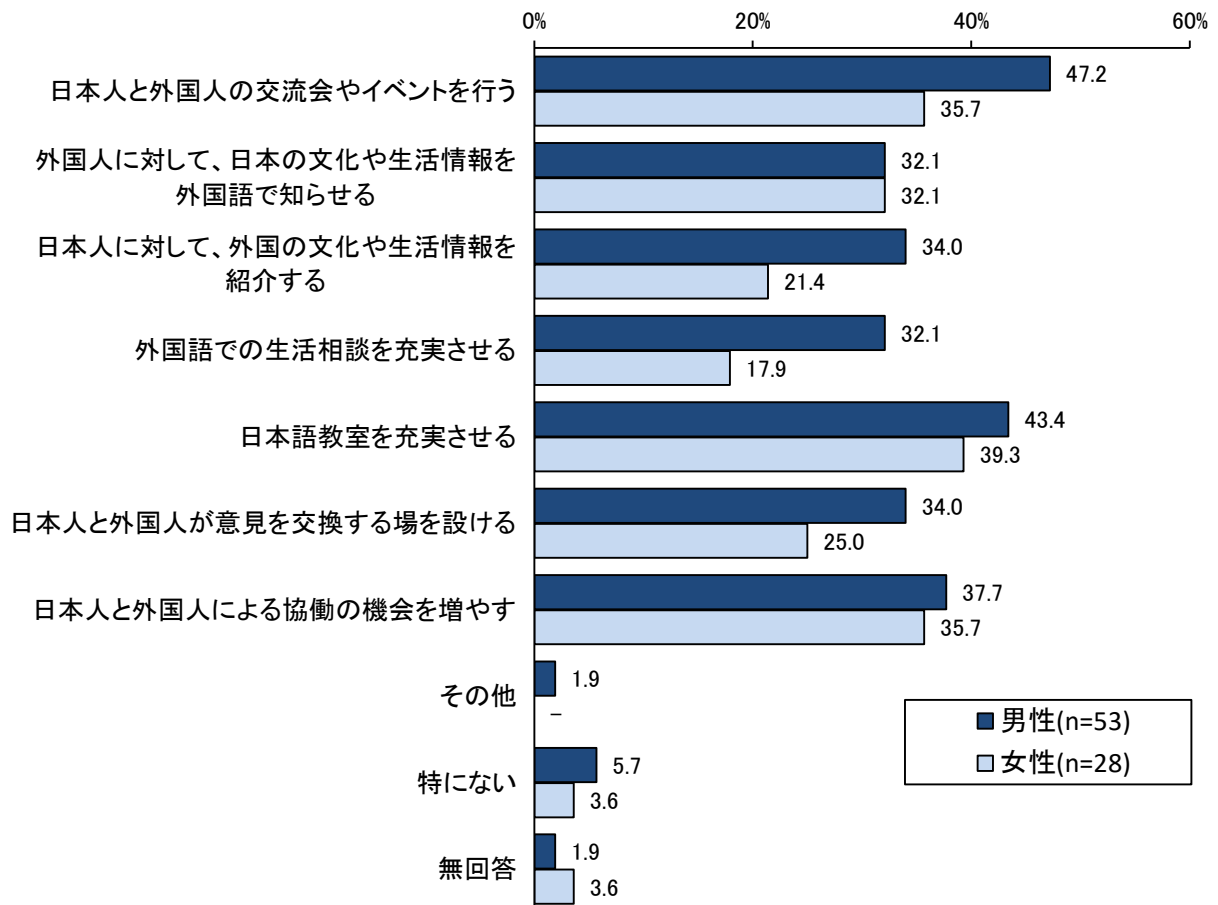
【問 23\_性別（日本人）】



「問 23 「多文化共生のまちづくり」の推進のため区が力を入れるべきだと思うこと」（3つまで回答）－ 3

外国人の調査結果を性別で見ると、「日本人と外国人の交流会やイベントを行う」「日本語教室を充実させる」「日本人に対して、外国の文化や生活情報を紹介する」「日本人と外国人が意見を交換する場を設ける」「外国語での生活相談を充実させる」など、男性の方が女性より割合の高い項目が多くなっている。

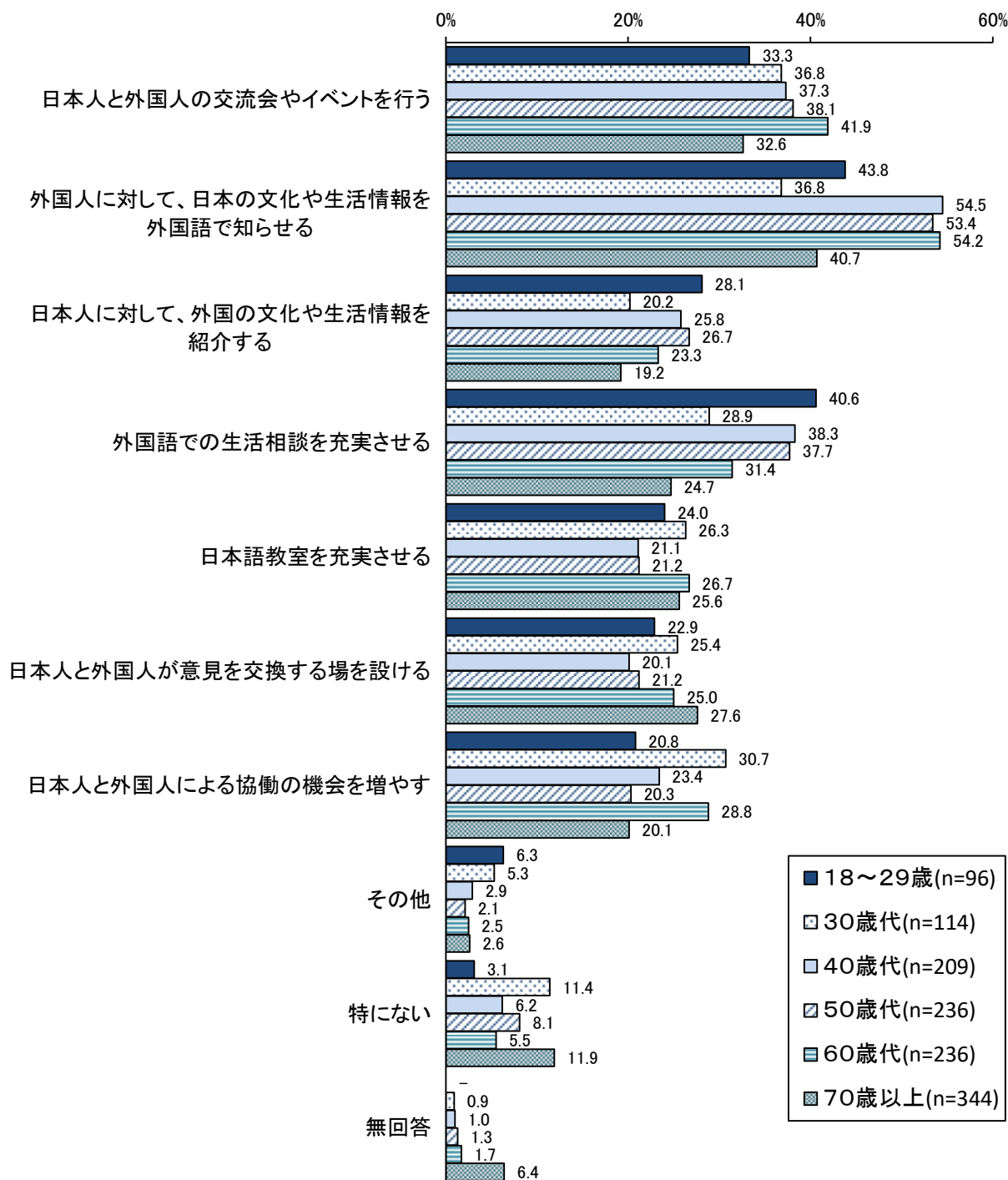
【問 23\_性別（外国人）】



「問 23 「多文化共生のまちづくり」の推進のため区が力を入れるべきだと思うこと」（3つまで回答）－ 4

日本人の調査結果を年代別で見ると、「外国人に対して、日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」は40～60歳代で5割を超え高くなっている。「日本人に対して、外国の文化や生活情報を紹介する」「外国語での生活相談を充実させる」は、18～29歳が最も高くなっている。

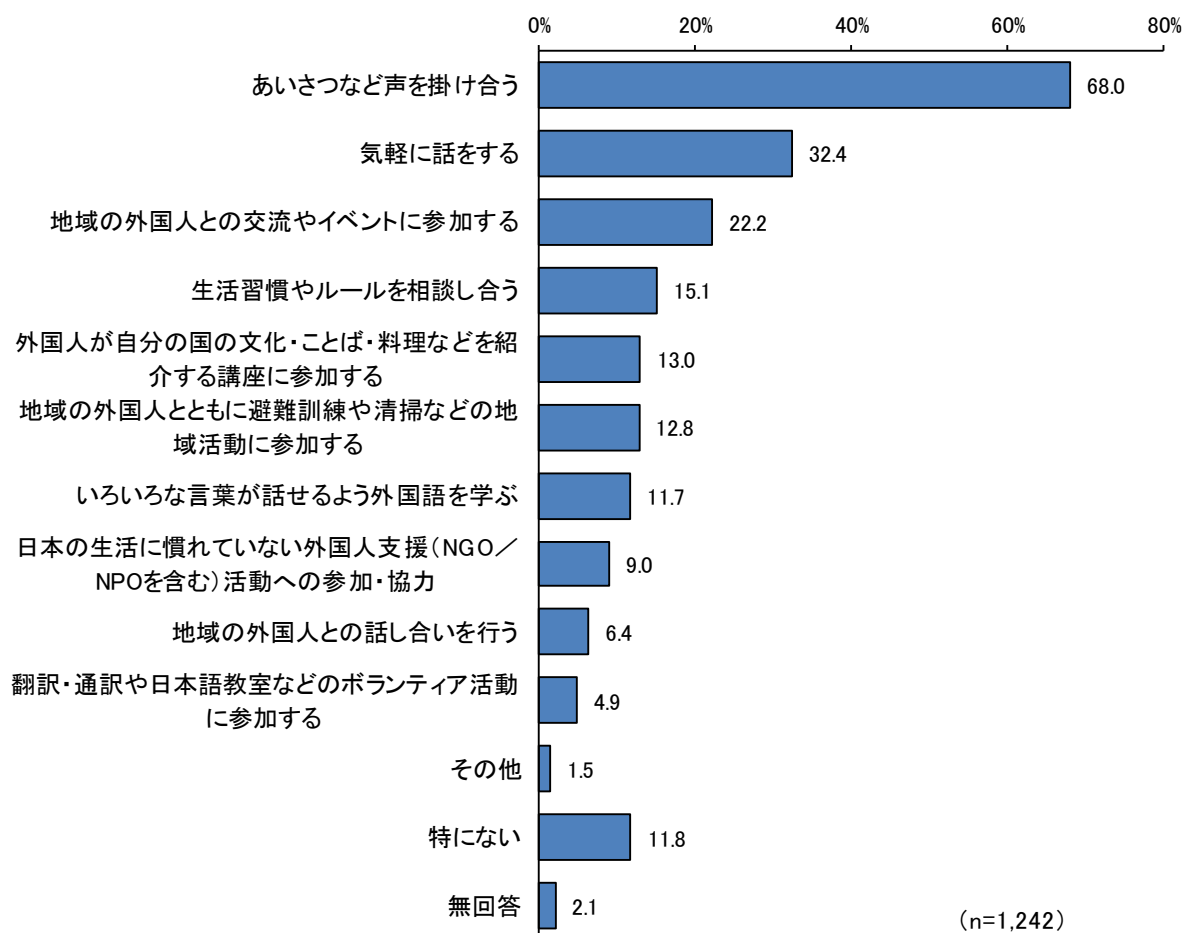
【問 23\_年代別（日本人）】



「問 24 「多文化共生のまちづくり」の推進のため協力できること《日本人版調査票》」（3つまで回答）－1

「多文化共生のまちづくり」推進のため協力できることを尋ねたところ、日本人の調査結果では、「あいさつなど声を掛け合う」が7割近くと突出して高くなっている。次いで、「気軽に話をする」が3割強、「地域の外国人との交流やイベントに参加する」が2割強で続いている。

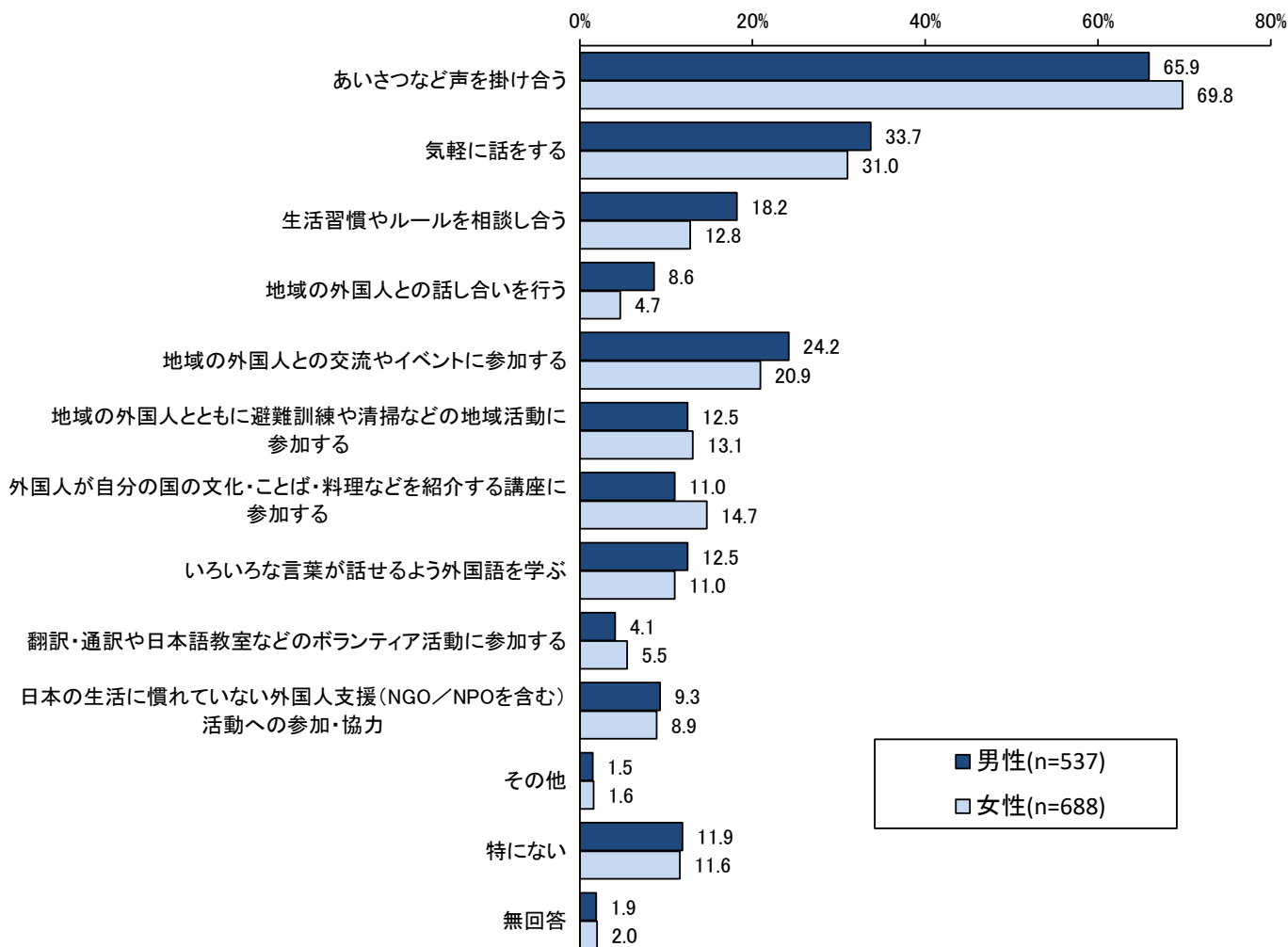
【問 24 日本人版】



「問 24 「多文化共生のまちづくり」の推進のため協力できること《日本人版調査票》」（3つまで回答）－2

性別にみると、「あいさつなど声を掛け合う」「外国人が自分の国の文化・ことば・料理などを紹介する講座に参加する」は女性でやや高く、「気軽に話をする」「地域の外国人との交流やイベントに参加する」「生活習慣やルールを相談し合う」「」は男性でやや高くなっている。

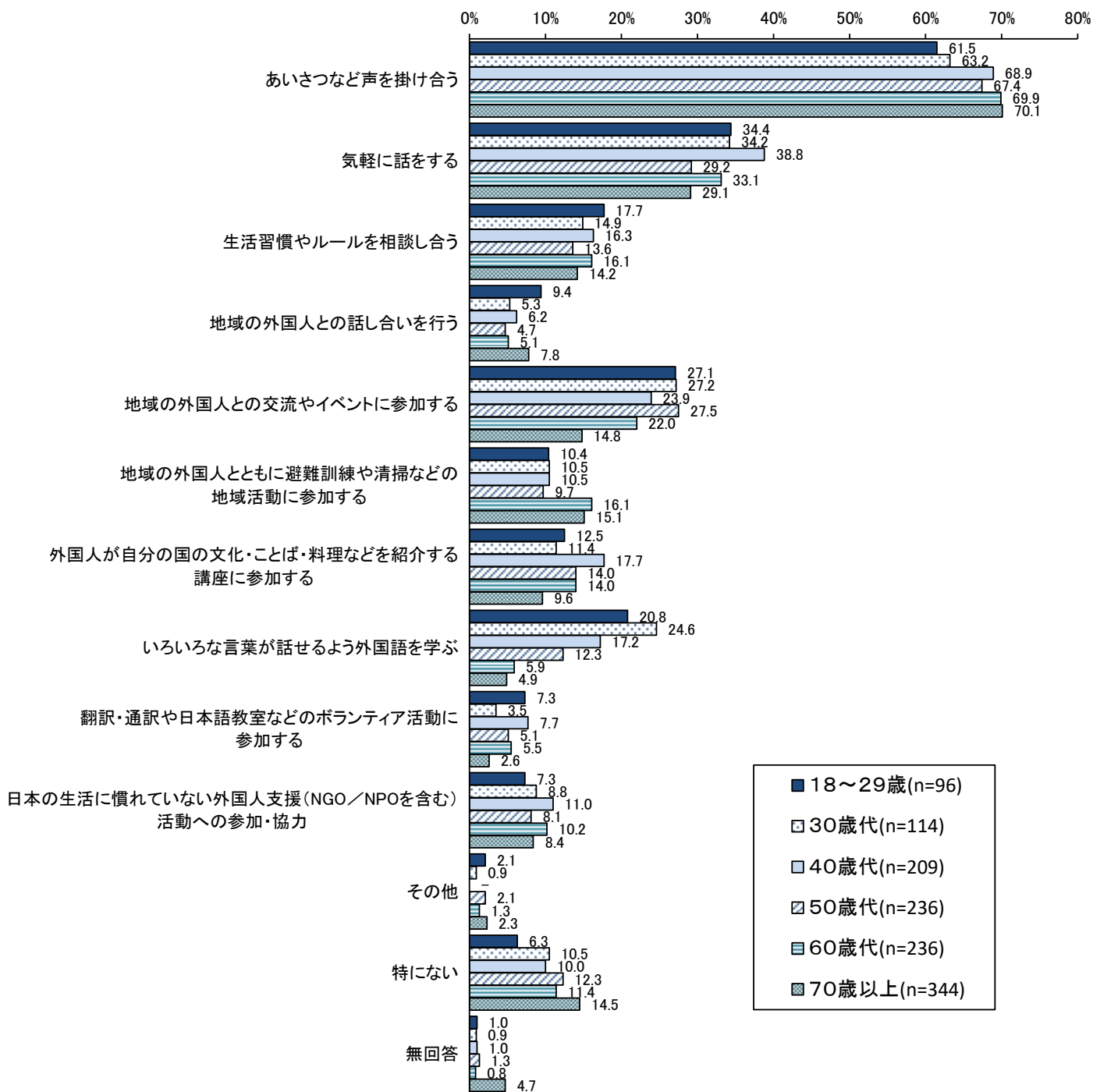
【問 24 日本人版\_性別】



「問 24 「多文化共生のまちづくり」の推進のため協力できること《日本人版調査票》」（3つまで回答）－ 3

年代別にみると、「あいさつなど声を掛け合う」は18～29歳・30歳代は40歳代以上に比べやや割合が低くなっている。「気軽に話をする」は40歳代が最も高く、「いろいろな言葉が話せるよう外国語を学ぶ」は30歳代が最も高くなっている。

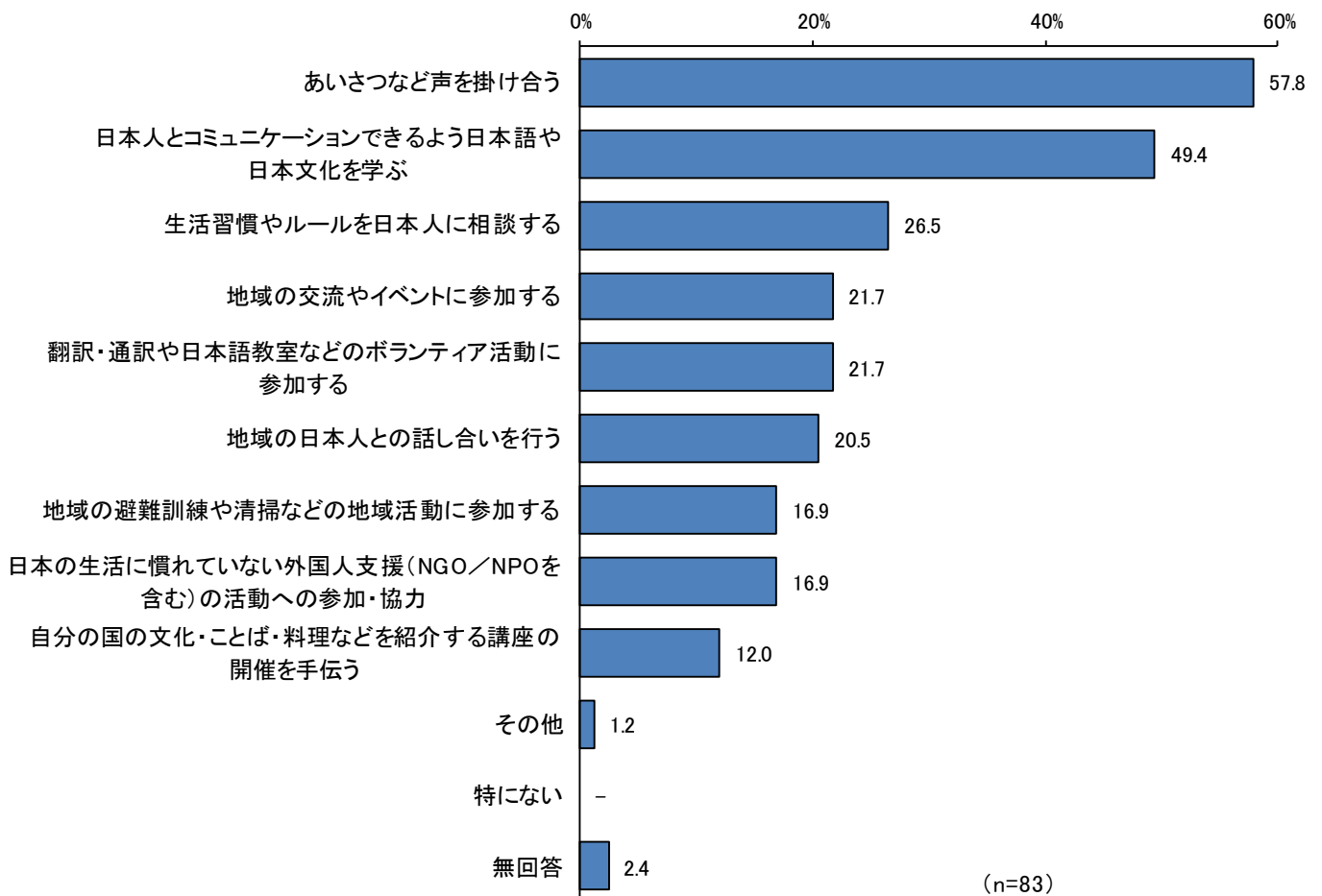
【問 24 日本人版\_年代別】



「問 24 「多文化共生のまちづくり」の推進のため協力できること《外国人版調査票》」（3つまで回答）－1

「多文化共生のまちづくり」推進のため協力できることを尋ねたところ、外国人の調査結果では、「あいさつなど声を掛け合う」が6割近くで最も高くなっている。次いで、「日本人とコミュニケーションできるよう日本語や日本文化を学ぶ」が5割弱、「生活習慣やルールを日本人に相談する」が2割半ばで続いている。

【問 24 外国人版】





「問 24 「多文化共生のまちづくり」の推進のため協力できること《外国人版調査票》」（3つまで回答）－ 2

外国人の調査結果を性別にみると、「あいさつなど声を掛け合う」「日本人とコミュニケーションできるように日本語や日本文化を学ぶ」は男性で高く、「地域の交流やイベントに参加する」「地域の避難訓練や清掃などの地域活動に参加する」「日本の生活に慣れていない外国人支援（NGO/NPOを含む）の活動への参加・協力」は女性で高くなっている。

【問 24 外国人版\_性別】

